京城日報

列強大戰亂電報

▲依然警告無く撃沈 獨逸潜航艇の暴狀

汽船ヘスペリアン號(一萬餘噸)は旅客七百名乘組員二百五十名を乘せ四日午後八時二十分リヴアプールよりモントリールムに向け航行中何等の警告も與へられず突如獨逸潜航艇に襲撃せられたり旅客乘組員の多くは救助せられたり而してクインスタウンに上陸せる負傷者は二十名にして其内白耳義に於て戰鬪に參加して負傷し本國加奈陀に歸還の途中なる兵士其他爆發の爲め負傷せる旅客等あり遭難汽船は五日夜尚ほ海上に浮び居れり(六日、倫敦發)

▲無警告撃沈と米國

獨逸潜航艇が米國に向け航行中の英國汽船ヘスペリアン號(一萬九百二十噸)に水雷を發射したりとの事は米國人を驚倒せしめ姿に駐米獨逸大使ベルンストルフ伯より獨逸は爾後警告無くして商船を攻撃せざる可しとの保障を得たる爲めに生じたる米國民の樂觀を破壞せり同船には米國旅客二名あり二名共一命は免れたれ共米國は獨逸に對し米國人の生命を危險に陷らしめざるやうされ度き事を要求す可し(紐育發)

▲獨軍の精力盡く

軍事專門家は獨軍の露軍追撃は最早其精力を消費し盡くせりと爲し今後露軍は冬季戰に備ふる爲め塹壕を穿ちて地下に據るに至らんと信じつゝあり(六日紐育發)

▲損失非常 露軍戰場の獨軍

獨逸公報に據れば獨逸が露國の戰鬪に於て非常なる損失を被り、或歩兵聯隊の如きは何れも一千乃至三千の兵を喪へることを容認せり(六日紐育發)

▲露將更迭

露國ルズスキー大將は北軍司令官に又エベルト將軍は西軍司令官に任命せらる(露都發)

▲露軍グ要塞奪還

一度グロドノーに敗れたる露軍は更に逆襲を行ひてグロドノー要塞を奪還したり獨軍は之が爲に多大の損害を蒙りて退却したるを以て露軍は益々攻勢を執りてキエフに向ひ獨軍到る處に大敗せり(東京發)

▲露帝の意氣

露國皇帝は飽迄も戰場に出で、全軍を指揮し士氣を鼓舞せんと努めつゝあり(東京發)

◎俘虜習志野に移送

淺草本願寺に收容せし獨逸俘虜は七日習志野に移送されたり(東京電報)

◎諏訪瀨島又鳴動

去る三日夜來又復鹿兒島縣大島郡諏訪の瀨島に微震あると共に鳴動止まず噴煙時々昇り噴火の兆あり(東京電報)

◎又復餘類收監

六日濱名及び太田兩名は高松監獄に收監され根岸金太郎も高松地方裁判所に召喚され取調を受けつゝあるが取調進行につれ一萬圓事件は益々擴大さる可し(東京電報)

◎御渡鮮御日取正誤

既電閑院宮兩殿下御渡鮮御日取中十月廿三日は九月二十三日の誤り十一月四日は十月四日の誤りなり(東京特電)

雜報

◎總督天機奉伺

聖上陛下には六日日光より還幸あらせられたるに付き寺内總督、山縣政務總監は宮内大臣に宛て天機奉伺の執奏方を電請したり

◎李王家天機伺

李王及び李太王は閔長官を代理として李堈公は金武官を、李埈公は張武官を代理として何れも七日正午總督府に寺内總督を訪問、六日日光より還幸あらせられたる聖上陛下の御機嫌奉伺取次方を依囑せしめられたり

◎總督邸晩餐會

寺内總督は九日午後七時より立花警務總長、司令部各課長並に入京中なる各道警務部長等を官邸に招き晩餐の饗應あり總督府よりも山縣政務總監以下各部長官等列席す可し

◎代議士と共進會

衆議院議員黑須龍太郎、井原百介、村松恒一郎、淺野陽吉、齋藤安雄、三輪市太郎、小山谷藏、高柳覺太郎、今井七平、多木久米次郎の九氏は津久井書記官、細川屬と共に支那訪問の途始政五年記念朝鮮物產共進會見物を兼ね入鮮の筈なるが一行の旅程を聞くに九月廿七日朝釜山に着し、廿八日午前入京、廿八、廿九、三十日間滯京、三十日午後平壤に到り一泊の上安東縣由滿洲に赴く可しと

◎警長會議(第四日)

警務部長會議第四日は七日午前八時三十分より總督府第二會議室に開催寺内總督、山縣政務總監、各部長官局長、關係課長等列席し立花警務總長統裁の下に管内狀況の報告あり午後は警務總監部に於て注意事項を協議し午後四時散會したり

◎鐵道史編纂 進捗

朝鮮鐵道局にて鷲尾副參事主任となり編纂中なる朝鮮鐵道史は既に大略の編纂成り早くも三分の二餘りの原稿は印刷に附し居れるが印刷は全部日韓印刷にて爲し菊版五六百頁のものとなるべく部數三四千總經費四五千圓を費す豫定なりと

◎培材學堂寄附 總督よりも千圓

基督教メソヂスト教派に屬する京城培材學堂にては豫て同校々舍新築費及び基本金に充つる爲め米國にて二萬圓の寄附金を得たるが京城に於ても約六千圓の寄附金を蒐め寺内總督も特に金一千圓を寄附したり

◎川村中將視察

川村第九師團長は七日龍山練兵場に於て施行せられたる步兵第卅九聯隊の第三期檢閲を視察したり

◎ス博士入京期

前米國プリンストン大學教授にして米國宗教界の權威者たるロバート、イー、スペヤー博士は不日入京の筈なるが米國總領事は同氏の爲め十日午餐會を催す可く總督府内にては小松、兒玉、關屋の三局長並に菱田通譯官等招待を受けたり

◎赤十字有功者

左の諸氏は特志に依り赤十字社總會當日總裁殿下より有功章又は特別社員章を授與せらる可し

(有功章)子爵尹德榮、侯爵尹澤榮 (特別社員章)三田政治郎、高野省三、山崎鹿藏、菅谷駒之助、辻本嘉三郎、熊城鍾三郎、男爵張錫周、權重顯、子爵李夏榮、洪忠鉉

◎朝鮮彙報記念號

朝鮮總督府月報が非常なる改善を加へられて『朝鮮彙報』となつて號を重ぬること既に七號その第七號は九月一日に始政五年共進會記念號として裝を凝らして現はれた、三百頁に近き冊子は悉く共進會に因なんで始政五年間の朝鮮の進步に關する記事を以て滿され冒頭に共進會を紹介した後、行政、教育、宗教、財政、金融、交通、產業、貿易、司法、警察及び各衛生等各項目に分つて過去五年間變遷の跡を極めて詳細に敍述してある、附錄としては朝鮮經濟力の進步其他を統計表にて明示し卷頭には共進會場の美麗なる寫眞を揭げ又各地の風俗及び各般の施設に關する寫眞約百個を插繪とし瀟洒たる表紙と相俟つて高尚優美な雜誌が出來上つた、朝鮮を知るには最好の參考書として江湖に推奬する(定價金二十五錢朝鮮總督府發行)

◎朝鮮牧畜會社進捗

井上敬次郎、堀力太郎、吉田秀次郎、山口太兵衛、藤井寬太郎、淺海金六其他數十氏の發企に係る資本金百萬圓の朝鮮牧畜株式會社の設立計畫は創立委員長淺海金六氏が専ら其衝に當る事となりて以來著々創立事務の進捗を告げ目下株主勸誘中なるが將來有望の事業たる丈けに株主の申込者頗る多く盛況を呈し居れば近く創立の運に至るべしと

◎李埈公金剛山行

李埈公殿下には十一日朝南大門出發元山を經て金剛山の觀察を爲し十八日午後歸京の筈なり

人事消息

▲河合弘民氏(東拓協會分校幹事) 六日内地へ

▲森山盛之氏(度支部事務官) 同上

▲角谷揆一氏(大阪地方海員審判官) 同上

▲野田卯太郎氏(東拓副總裁) 福岡縣名中井上侯の訃に接して急遽東上歸京中

▲永井松次郎氏(土木局仁川出張所長) 港灣に關する事務打合の爲七日出府を命ぜらる

▲齋藤金藏氏(關稅課長) 善園事務に關する事項調査を委托せられ七日當の豫定にて全羅道及び慶尚道へ六日附出張を命ぜらる

▲高橋昌二氏(工科大學助教授) 七日朝北鮮より入京朝鮮ホテルに

▲寺田廣島縣知事一行 田島國俊氏、山須濱一氏、神野寅一氏七日朝平壤へ

▲丹波敬三氏(藥學博士) 六日入京南尾旅館へ

▲宮原忠正氏(水原模範場技師) 六日歸任

▲大野鋭次郎氏(新任第九師團經理部長、一等主計正) 七日着任の答

◎旅大特別市制

電報を以て報せる如く大連及び旅順の特別市制は愈々十月一日より實施のことに決定せるが其の市制案は規程僅に二十八箇條より成り最初は市の權限を小にし漸次擴張し得るの形式を執ることゝし勅令又は法律の形式に據らず都督府の權内にて府令として發布することに定まりたり案の內容は大略左の如し

▼權限●市の委員事務は衛生、教育及び救恤の三事業とし衛生事務は現在の衛生組合の事務を繼承し教育事務は月謝の徵收、消耗品の支拂等單に會計事務を司るに止め救恤事務は行路病者の收容その他一般慈善に關する事項を掌理す

▼選擧●議員定數は之を三十名とし半數は純官選他の半數は官選の上議員之を選擧し而して都督府の認可を經ること

▼市長●市長は前記議員より成る市會において三名の候補者を選擧し都督府之を任命す

▼經濟●成べく市民の負擔を輕くし而も其の實績を擧げんが爲め市の歲計は約十萬圓内外とす

大體以上の如きものにて權限極めて狹少なるも旅大の實狀市民の資力等より冷靜に考慮せば當初の市制は先づ此位の見當にて然るべく思はる、尚ほ議員選擧を官選とし市長選擧に任命の複式を執りたるに對し異論を唱ふる者あるも從來衛生組合の選擧にすら馬鹿騷ぎをなすもの多かりし徵し之を官選としたるは是非もなしと認むるの外なし市長選擧の方式も今日のところ此位の程度が至當なるべし問題は市長其人を他より採るか土地の者より擧ぐるかにあるも結局土地の有力者より推すの外なかるべく而して與望は代議士石本鏆太郎氏を市長に現衛生組合長、新開貢氏を助役とするに傾き居るが如し市長は名譽職とし單に交際費を給與するに止まるべしとの事なり(大連)

◎朝鮮と兵庫縣 北部觀察を重んず

兵庫縣にては今春有志一團の朝鮮視察に次ぎ加東郡有志の農業視察を行へる等漸次朝鮮に接近の步を進めつゝあるが朝鮮の移住は鮮海出漁の特例を除くも既に揖保郡飾磨地方にて可なりの成績を示し朝鮮地方移出の本縣民の如き神崎移民の開拓に負ふ所勘からざるものあり此の際朝鮮物產共進會を機として八日夜出發の筈なる知事一行の觀察團が一流紳士を網羅せる點に於て從來の例を破るは朝鮮の實行上聊か注目に値すべし南部よりも北部に重きを置かざるべからざる事情あり知事の如きも京城以北或は義州元山に旅程を延長すべく目下考案中なりと聞く(大阪)

南言北語

サア最う一と息やれと盛んに出征の將士をけしかけながら▲內々では今の內にお願申したいとソツト羅馬法王の衣の袖を引いた▲さらぬだに今迄幾度中言しても誰れも取り合つて吳れない法王の事だから▲オイ來たと早速引き受けた▲が、獨逸も去るもの貴方が單獨で主張しては聞き手がない是非ウキルソン君に口を切る橋渡り來て下さいと附言した▲法王直に衣の袖を搔き合せ其旨を米國の大僧正ギツボンス大僧正に申し送つた▲其處で大僧正はウキルソン君と會つて一伍四什を談すると今の處其れは何うも私からは申し出しにくいですからと案外な返事▲其れも其筈聯合國側では之れから本物になつて獨逸を倒すのだと鼻息荒く▲露西亞では上下一致して無限の犧牲を拂つても何うしても獨逸をやつ付けると公表したのだから溜らない▲斯うなつたと云つて獨逸も戰線の大軍へ回れ右の命令を下す譯にも行かず最う愈々破れかぶれと出るより外はあるまい▲其れに永引いて困るのは食糧で腹が減つては戰が出來ぬ何でも食ふに限るとハベルランド教授は鋸屑から麵麭を製造する事を發見した▲之では獨逸は全く白蟻だ白蟻だから食ひ入るのが上手かも知れない▲今度內地から共進會視察に來る團體の中に劈頭一番に到着するのは兵庫縣の團體である▲十一日卽ち共進會開會當日の午前八時五十分に南大門驛に到着する相な▲京城の設備も最う充分に出來て居るサア入つしやい吾人は新來の觀察員諸君に對し衷心から大に歡迎の意を表するものである

朝刊と合せて八頁

定價 本紙 一部金二錢 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 (郵送料別) 郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲三號活字の一行金壹圓拾錢 ▲場所指定一行金拾錢增 ▲六號活字は二號活字同樣 ▲一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 發口政太郎 京城太平通一丁目

發行所 合資會社 京城日報社 電話(編輯用長 二四五番 二二一番)(營業用 三二六番 長六八番)(振替貯金口座京城 三〇〇 六〇〇)

宇治茶直接販賣

喫茶の好時季

御茶銘錦定價表(二百目ニ付)

◎玉露製 ◎煎茶製

營業所 京都七條東洞院角 製茶問屋 井上大平

白檀油代用藥 優秀卓絶 價格低廉

コノサルビン

文獻及見本御申越次第進呈

發賣元 大阪市外中津町 三友製藥合名會社

大阪道修町 武田長兵衛

東京本町 小西新兵衛

寫眞

寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版

最も熟練せる技術を以て最も堅牢に迅速と可嘆親切を旨とし御高需に應じ候

京城日報社 寫眞製版部

御大典用 禮式靴

一 御大典用靴及鞄等は正式に製致し候 弊店は宮内省御用達の命を蒙り居り候に付正規に叶ひ候ものを製造仕候

禮服入鞄

定價表は郵券二錢御送附次第迅速送呈す

內田靴鞄製造問屋 東京芝櫻田伏見町 電話新橋一五五一 振替一八一七

◎一等には貳千圓の割增金を附す

◎初回くじびきは來る十二月

◎第六十三回 勸業債券 五分利 拾圓券 賣出

◎來る九月十六日より同月三十日まで

日本勸業銀行及各地代理店、取扱店並に郵便局にて

酒精アルコール

直輸入元 仁川花町(電話六五〇番)電略(サ)振替口座京城五八二番 坂倉伊平商店

京城吉野町一丁目(電話二四四一番) 坂倉伊平支店

商工業者の羅針盤 仕入商人の好伴侶

大阪仕入案內

第八年九月號出づ

本號には御大典奉祝用商品等有益の廣告あり

▲附汽車旅行案內 ▲大阪地圖添 ▲隔月一回發行

定價一部十五錢(郵稅共) 一年分前金八十五錢(郵券代用一割增)

大阪西區阿波堀通四丁目(阿波堀南詰南入) 大阪仕入案內社 振替大阪一四三六七番

內外各國食糧品

神佛御婚禮御進物用品一切取揃へ居申候

京城本町三丁目 森川商店 電話九三五番、二二〇七番

富貴味噌製造元 高陽郡恩平面內洞(獨立門外) 森川萬富園工場

銀行會社官吏鐵道 員養成講義錄

本校卒業者は各自希望通り東京は勿論全國へ就職せしむ現に卒業生は紹介先より多大の歡迎せられつゝあり八ヶ月卒業武圓八十錢校則無代進呈●東京芝公園●大日本國民通信學校

洋蠟 機械油 製造 發動機油 動植物油 販賣

仁川松阪町二丁目 朝鮮蠟油組合 電話三一四番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城 朝鮮銀行

支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

各種石鹼 製造 曹達灰 洗濯曹達 販賣

京城元町一丁目 仁川松阪町二丁目 圡田組

□京城の空に 飛行家尾崎行輝氏と飛行機三重號

●空前の長期訪問飛行
新進飛行家尾崎行輝氏の三重號
京城の高空を翺翔すること二週日に渉らん

京城協贊會は共進會開會中の一大異彩として飛行大會を催さんとの議あり嚢に總督府の白井少將其他の應援を得て帝國飛行協會に對し交渉する所ありたるに協會側にては朝鮮に於ける此空前の盛典に參列し

▽飛行大會 を催し會場訪問飛行を行ふ如きは協會は勿論飛行家に取りても大に面目を施す次第なればとて渡鮮の議を內決せしも尚ほ其後交渉を要する事項ありたるため協會と協贊會との間に客月來數回の文書往復をなし照會中なりしが六日帝國飛行協會々長大隈伯より吉原協贊會長に對し全部の交渉完了飛行家派遣方

▽快諾の旨 通牒し來りたり此ため飛行協會にては來る二十日頃迄に同協會員なる澤柳海軍少佐を渡鮮せしめ飛行に關する諸般の打合せを協贊會と爲さしむること、なしたり尚ほ其節來鮮の飛行家は既報の如く司法大臣尾崎行雄氏の令息行輝氏にして同氏は今月末若しくは十月早々三名の機械職工を携へて入京し直ちに練兵場內に

▽格納庫 を設備し機體の組立に着手其完了を俟つて練習飛行を爲し十月一日頃より連日二週間の長期間に亙る會場訪問飛行を行ふ可しと今日迄催されたる各種の飛行大會にして二週間に亙る長期の飛行を爲すは今回を以て嚆矢とすと云ふ

▽拔群の技倆 尚ほ今回渡鮮する飛行家尾崎氏の手腕に就て同氏の知人なる某氏の語る所に依れば行輝氏は本年六月上旬より陸軍飛行家の澤田、阪元兩中尉を教官として專心モリスファルマン式の操縱術を學びつゝありたるが近來

□技術の上達 著しきものあり遂に單獨飛行さへ許されたる程にて昨今は專ら協會の三重號を操縱し高度に於いては千五百米突飛行時間に於ても十時間十分と云ふが如き記錄を作りたる程にて本月に入りては前記の教官同乘の上遠距離郊外の飛行演習を始め第三週間目には單獨にて近郊飛行を試みたる後本月下旬を以て愈よ所澤卒業の帝都訪問飛行を行ひ斯て完全なる飛行家となる次第なりと又

□行輝氏より 某氏に寄せたる近信によれば『卒業飛行を終ると同時に記念す可きモリスファルマン七十馬力の三重號を携へて京城に參り始政五年記念共進會の會場訪問と云ふ卒業後第一回の而かも光榮ある飛行をなすことは私の最も嬉しく思つて居る所です飛行家として協會に籍を置いてから間も無く從つて

□技術の點も 未熟であるかも知らないけれども大事の上にも大事を踏んで無事に飛行期間を終りたいと思つて居ます共進會の任務が濟めば三重號を生だ郷里の三重縣に歸省して數日間飛行して見る考へです』

●蟲の匐ふ程も動かない
重量八千貫の鐘路の大梵鐘の移轉工事=八日中には工事を終るつもりだ

京城名物鐘路の鐘は愈よ鐘樓普信閣と共に移轉し始めた、何分にも重量八千貫の大梵鐘と表四間半奥行三間半の大鐘樓をそのまゝ移轉さすといふ朝鮮始めての作業であるから附近は白衣黑冠の人山を築き何れもアイゴウ〳〵と驚嘆する者許り殊に田舍から出た

▲鮮人の中には一日身動きもせずに觀て行く人もある鐘樓普信閣は這回の市區改正の爲め引込めるのであるが何分中には大な巨鐘があり屋根には五尺餘も土を重ねその上に瓦を敷いた建物なので其引越も容易なことではない。引越工事は生田請負師が千餘圓で引受けたものまだ契約の期間は充分あるけれども共進會開會までには是非共やり遂げたいと云つてゐる。昨今は毎日のやうに澤山な

▲萬力をかけて『やいとまけ!!まいた〳〵!!』をやつてゐるが大鐘樓は虫の匐ふ程にも動かない――またこれがグイ〳〵と動いたら其れこそ大變大間違ひが生きるのだ作業はなか〳〵巧手にやつてゐる。係員の談では一日に二尺も動かぬ程なれども共進會も切迫しましたから七日からは晝夜兼行で八日中に移して了ふとの事で猶ほ建物をヂリヂリと動かすと共に其礎石も巧に取り除けて新らしい地面に置かねばならぬが何分街角に遺かれた

▲礎石の如きは人夫十二人が掛りで漸く動かした程のものので取扱もなか〳〵困難であるしかし這回は何れもコンクリートの上に置かれるから以前よりも堅固になる譯である。何分にも名高い大梵鐘のことであるから其の移轉工事も大した評判、だが鮮人の迷信も甚だしく中には過般の豪雨は鐘路の鐘を動かす爲めだこいふ者もあるしまたむかしはあの梵鐘を吊ることさへも大難事でその爲め吊り上げ法を發明した少年は殺された程だから這回も無事では濟むまいなどと噂して居たが請負者は去る二十五日此の作業に取かゝる當日神主を聘んでお祓を濟し尚ほ餅撒きをもやつたところ折よく雨も晴れたので鮮人間の風評は盛んなのである

□大嘗祭獻穀精粟齋田刈入式 九月二日鎭南浦富田儀作氏受命に係る大嘗祭獻穀精粟齋田の刈入式を總督府及び道官吏臨席の上行ふた精粟は近々上納の筈寫眞中白裝束の人は富田翁である

●高麗丸で出産
母子共に壯健

下關市竹崎町五番地當時仁川濱町二番地儀川鶴太郎(二)の妻だい(三)は去月中旬郷里の實母死去の爲め歸郷し葬送萬端取濟し五日午後下ノ關發關釜連絡船高麗丸に搭乘し仁川の我家を指して歸る途中六日午前七時半頃同船が港口近かく進み來れる折から臨月のだいは俄かに洗痛を催し同船が釜山棧橋に著くと同時に三等婦人席にてボーイの助産にて安々と女兒を分娩したるを以て船中大悦びにて山田事務長の如きは襯衣一枚となりて赤兒に産湯を使はせるやら船長は船員一同から金員を醵出しお祝として友禪モスの産衣を贈る事とし一方相澤産婆を呼び來りたるが母子何れも健全にして午前十一時頃産婦の親戚なる釜山佐渡町大工河本榮三郎方に引取られ靜養中なりと(釜山支局)

文展と朝鮮
京阪畫家の奮發

今秋の文展開展を待ち構へたる京阪畫家の奮闘振りが昨今漸く目立つばかりに色めき初めた、山元春擧氏は早く月中々計畫を立て去年の立山登攀で腦中に銘じ得た印象を再び新たにすると同時に高山植物の咲き盛りを去月開吹の山上に眺め歸來腹案を練りに練つて不日天馬行空の筆を一氣に下さうとの心構へ竹內栖鳳氏は永々持ちあぐんだ東本願寺の天井繪もあり其の上未其の御屏風繪を仰せつかつて今度の出品畫か如何な樣子だか菊池芳文氏は

▽洛西の 新居に籠つて得意の大作に[illegible]

二等賞に一段と[illegible]昨年の[illegible]

早く日本アルプス殘雪の偉觀を寫生し歸り此山の威容を感受しつゝある遊く藝辭に逃足踏み伸ばしつゝ異つた風の何よりの土産に持ち歸つたのは小村大雲、岡文齋の兩氏で岡氏は既に二曲一双の下繪を完ほし小林氏は家を擧げて舞鶴に暑を避くる間に蘊蓄たる工夫を凝す、橋本關雪氏は播州二見の別宿に去つて其の處に得意の

▽山水を 揮灑すべく西山翠嶂氏も平生凝性な揮して思案に思案を重ねて居る土田麥僊氏は昨年の興譽とりもくに鑑み今年は大原女の寫生に復も一新機軸をと心がけて嵯峨に引き籠りて靜かに筆を下すつもり

また大阪よりの出品は昨年より以上におるらし野田九甫氏は六曲屏風年扱へ光明皇后を描き北野恒富氏は例の豔麗な文展へ出し美人の方へ紅さず女と題し昨年の[illegible]

艶麗無比のものを送ると、中川和堂氏は六曲屏風一双竹錢を[illegible]描きパサケシと呼ぶ黒い鳥を配した十八番のものを、尾竹國觀氏は[illegible]を主とした[illegible]の畫を土を描く

▽淡彩で 六曲屏風一双へ描つたものと夫れから柳樹の下に佇む天平美人を出すさうである、山內神斧氏も同じく天平美人を描くさうである植中直齋氏は三幅對へ賢者の一座を古風俗で描き船[illegible]華洲氏は保津川の筏流しと大原女が原、松浦舞雪氏は花と題し爛漫たる櫻花に數名の美人を配したもの。久保井翠桐氏は今回紹介方へ朝鮮所見を出すさうであるが此の他鮮のお伴れには富田溪仙氏も加はるさうで去川既に寫生旅行から歸つて來た、大會派の湯川松堂氏西川桃嶺氏なんと呼ぶ中考進な顔にも聞ふ百八拾九名の會員が寄つて出品するさうだ文雨宗派の水田竹圃矢野橋村氏[illegible]品者があるらしい(大阪支局)

●茸狩に山へ
□□□□□ 清涼里‖獎忠壇‖南山

こゝ兩三日來涼味頓に加はつて清々しい朝鮮の秋の氣分を充分に味ひ得る季節となり京城郊外の散策さては茸狩の盛り時となつた、今年は近年にない大雨があつたので充分の濕氣を帶びて居る爲め茸の生え方が頗る早く九月も未だ上旬の今日此頃初茸の眞盛りと云ふ有樣、京城附近で茸狩り山として知れて居るのは清涼里の松林を第一とし獎忠壇から南山の麓を縫うて龍山に至る一帶の松山で近頃清涼里から此方面に出掛けるもの日に幾百人と云ふ人數、取れる茸の種類は極めて少なく初茸を第一として鼠足、スドーシ等の雜茸許り、南山の松茸と云へば有名なものだが未だ素人の手で取つた話がない、近年內地人が馬鹿に

□茸を珍重 がるのを聞いて朝鮮人の茸狩に出るもの多く、その取つた茸は皆南大門の市場に出すが此雜茸は大低百目八錢位で賣買されて居る、未だ少し早いが松茸狩ならば殖政府方面か若しくば水原方面に出掛けるならば相應の獲物があると云ふ話だ

□太平樂 (黒田鹿水氏新作 樞一定作曲)

臨ゆく駒のあし早く 新政茲に五星霜
農耶を勵の産業を 勵ますかみの眞心を
木の下蔭の民草も 知りて卽く時津風
都も鄙もおしなへて 蘇かへりたる風情哉
見渡すかぎり山々は 居ずみ染めて紺濃く
野は一面に稻村の 瑞穗垂りてすえ重く
[illegible]

(黒田鹿水氏共進會新作琵琶歌の一)

●大阪毎日學術講演

始政五年記念朝鮮物産共進會を機とし大阪毎日新聞社に於ては來る九月十八日より京城に於て二日龍山に於て一日學術講演會を開催し引續き仁川、平壤、大田、大邱、釜山の各地を巡回開催する事と爲り其講師として同社記者菊池幽芳、橋詰せみ郎兩氏並に運動家として知られたる醫學博士木下東作氏來鮮の筈にて同時に同社活動寫眞隊も渡鮮京城三日間龍山二日間の開催を振出しとして全鮮五十餘個所の重なる都邑を巡回の筈而して講演會、活動寫眞共に一切無料を以て入場又は觀覽せしむ可しと

●大雨の爲に停電す

六日午後十時十分頃突然釜山本町通りより草梁に通ずる一線は停車場附近にて風雨の爲め電線に故障を生じ停電約四十分餘に及び瓦電會社にては職工を現場に急派し直ちに應急工事を施したるが停電中の各戸は大狼狽を來し仲々の騷動なりき(釜山支局)

●共進會と料理屋

京城料理屋組合にては三日中券番事務所に集會し其筋の注意に依り共進會中は各地より多數の旅客入京するより此の際各樓共自家の料理に對する料金を刺身、酢物、燒肴、煮肴、壽司、蒸ずし、茶碗蒸、親子丼、天丼、洋食、會席、お菓子、果物、お酒、ビール、サイダ、シトロン等の如きに就て一本或は一人前幾何等を任意に決定し之を大書して各室に貼付することゝなれるが尤も玉代は各等級に依りて既に決定し居るを以て省略し其他花客の便を圖る爲め汽車發着或は市內各地より自家迄の人力車賃等をも記載して一目判然する樣になすことに協議し各々の料理代は任意記載して警察に屆出でしが料金は各戸に依りて幾分の差異ある所刺身以下洋食迄は一皿概ね二

●料理屋大會と寄贈品 料理屋組合主催の全國料理店飲食店業者大會の申込は頗る盛んに前景氣よく各方面よりの種々の寄贈品あるが是は本町二丁目修文館跡の家屋を借受け陳列し居れり

●片山夫人逝去 外事課長片山恒氏夫人病氣の處六日午前十時逝去せり八日午後五時途中行列を廢し若草町曹洞宗別院に於て假葬儀執行の筈なり

●英語夜學會秋季學期開會式 從來[illegible]ソナスト敎會名古屋城內にて開催の英語夜學會は六日夜八時より秋季開會式擧行の筈にて該會員の親睦會を催し諸弁打ち合せをなす由[illegible]福岡市居住のブル氏夫妻出席し獨特の合唱あり新入會員を大歡迎する筈なれば希望のものは至急申込まれたしと因に右夜會學會は日本語に堪能なるスミス氏夫妻專ら敎鞭をとり居り入會金五十錢會費七十錢なり

九月九日九星 舊八月朔日 癸卯 本命九紫 南破友引

▲九紫 恩を思はぬが如き事有日新事見合西方は吉 暗劍南▲一白 手ぬかりを生じ安き日新事手控移轉は吉小兒病生水雜注意▲二黒 成効の日轉居入學旅行名弘求職探[illegible]婚姻井戸掘等吉▲三碧 吉利の日轉居入學等諸事吉物に勝の日▲四緑 [illegible]ふべきの日也▲五黃 求職婚姻名弘人寄業等萬吉▲六白 [illegible]施して大なる德を得る日萬進で吉女子の[illegible]▲七赤 [illegible]事は吉女難失物に用心せらるべし▲八白 大儲有日轉居旅行出遊名弘求職[illegible]

仁川協贊會會員(第一回)廣告

特別名譽會員 一百五十圓之部 大阪商船會社仁川支店

特別會員(參拾圓之部)
奥田貞次郎 美濃谷榮次郎
鬼頭鎌治郎 河野竹之助
村谷吉藏 高杉昇
平山松太郎 堀力太郎
加來榮太郎 慶田利吉

(貳拾五圓之部)
廣池亭四郎 末永省二
鈴木倭 淺松太郎
馬塲卯之助 田中佐七郎
高野周三郎

(貳拾圓之部)
玉置才一郎 坂倉伊平
松本要五郎 北島俗三
內海淑郎 荒木助太郎
辻川富重 土井伊右衞門
井上藤吉 吉金喜三郎
安盛孫兵衞 富山源三郎
大石季吉 山下吉藏
稻田勝彦 沼波石松
赤松吉藏

正會員(拾五圓之部)
立石幹 桑野良太郎
中野谷秀雄 大咲精七
行質秀吉 八坂ユリ
福岡利吉 今村覺次郎
大平友市 川手今吉

(拾貳圓五拾錢之部)
北河鐵二郎 増本茂三郎
白神專一 山本喜太郎
山口紋太郎 佐藤小五郎
宮田宗二郎

(拾圓之部)
藤木利右衞門 糸鼓平藏
川井田彌二郎 小倉柳助

(八圓之部)
本莊酒店 西堀安五郎

(七圓之部)
廣瀨倂二 村上貞市
西村久米藏 高田常三郎
湊平吉

(六圓之部)
廣澤正次郎

(五圓之部)
原田寅吉 淺井益三
菊地徹 小紫鹿之助
川畑佐熊 富澤周太郎
八田利三郎 久木田直熊
中村嘉兵衞 永井房三
長野茂樹 今井嘉吉
尾關十二郎 松本治五郎
長谷本仁三郎 園田助五郎
増井久吉

贊助會員(參圓之部)
福田鶴吉 三宅宏一郎
佐々木嘉市 久野喜太郎
兒玉平三郎 中條榮藏
磯永高甫 田中良助
樋口平吉 木村傳三郎
倉重悌軸
松永熊太郎 津江米作

金壹千四百貳拾參圓五拾錢也
右之通リ本會々員トシテ入會相成候ニ付此段廣告候也
大正四年九月七日
始政五年記念朝鮮物産共進會
仁川協贊會

祝共進會開催 冬物品揃 本年式流行界の逸品を取揃居候 ●丸一呉服店 電話 一〇九一番 六三五番

胃病新藥 マーゲン 胃病快治法(無代進呈) 特約店 京城南大門通二 新井藥房 大阪上本町五 田畑保藥房

滿洲 五龍背溫泉
■安奉沿線五龍背驛を距る二丁
■閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し
■風光絶佳にして一大樂園地なり
■諸病に特効あり理想的療養場なり
■宿泊、下宿、自炊、各樣の設備あり

水銀 新荷著 保税品有 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話長四五番二七七四番

宮內省御用達 最上醤油元祖 到所酒醤油店に有 ヤマサ醤油

花の都 優良石鹸
何故に化粧用に適するか 色白く肌理を滑かにすればなり
何故に浴室用に適するか 泡出豐細に心地好く伸びれば也
マスト石鹸發賣元 東京 大阪 野村外吉商店

●嫁を尋ねて

夫が日露戰役より凱旋後間も無く死亡したるより一家は糊口に窮し止む[illegible]がねは只獨り殘つて大正元年頃まで[illegible]は年々益發には老排てゐて[illegible]々長春迄かねの所在を探しに出掛けて[illegible]が重ね〳〵も不幸のものと言ふ可し

こう、同のよ、中村[illegible]小田金七郎、同いくゑ[illegible]明治治、田中權三郎、[illegible]成、服部國太[illegible]長谷川かれ、同はる、日吉[illegible]

曇り一時晴 九月八日[illegible]

家庭博覽會

斯の如き用意を以て家庭博覽會を觀られたし

家庭博名譽副會長　韓相龍氏談

凡そ人は協同團結して社會を成し社會が發達して國家を組織する、社會の發達は家庭の改善其本となり家庭の教育、衛生、風紀の健全なるは即ち國家を健全ならしめる基である、されば

■家庭の改良發達は吾々社會生活上

重要なる幾多の關係を有する者と云ふべきである、朝鮮は古昔より善良なる家庭組織がないのではなかつたが挽近に至り漸次頽敗して來たのである此際此れが改良は實に焦眉の急務であるのだ、今朝鮮の家庭に付て二三の例を擧ぐれば往古より支那に行はれた食客收容の弊風は自然朝鮮にも流れ込み、普通の家庭で食客二三人を有しないものは殆んど稀なり使用人を使用するにしても其父母妻子は之れに隨件するを常とし衣食は凡て主人の供給に仰ぎ主人も亦敢て之を怪しみもしない夫故に是等

■食客傭人は自然遊惰の風習に流れ

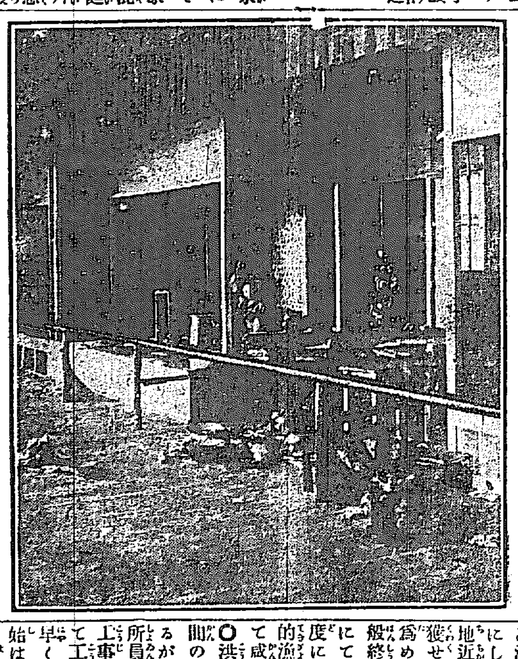
自作自給の念慮なく況んや遠く將來の慮り勤儉貯蓄の考の如きは一般に缺て居るやうである斯の如き状態である以上經費は益々多きを加へ一家經濟の豫算は殆んど立たない泡に混雜な家庭である次に不衛生なる家庭の例は掃除、下水、修繕等を甚だ疎外にし且食物に不注意で過食に傾き惡疫流行の場合などでも病毒の未だ發生しないうちに豫防警戒の策を講ずるなどのことはない又日用食物の供給は未だ分業製造の方法が行はれず醬油、酒物、鹽漬魚等の如きは毎戸必らず製作器械器物を具へ自家に於て之れを作るを習慣として居る是等は一面に於ては生活上の美風であるけれども爲に

■住家の大部分は之が製作場又は

置場に要し炊事場の如きも亦厖大の設備を爲るので家庭經濟に影響する處頗る大である故に一家を設け又は移轉の場合に於ては其入費の莫大であると運搬の繁雜であるとは豫想の外に出づるのを常としてゐる要するに家庭改善の方法は固より其方法はいろ〱あり或は新聞、雜誌若くは講演等により漸次改良する方法もあるが實物を一堂に陳列説明し彼我相酌研究して良を選し粹を拔き彼の長を取り我の短を補ひ我の優を示して彼の劣を悟らしめ其利害を判明せしむるは此れ百聞は一見に如かざる處で其改良も亦難事ではないのである、今秋京城には共進會の開設せらるゝ此れ固より國家的大事業にして社會を裨益することは多大だらうが此れと伴ひ貴社の主催で

■家庭博覽會を開設せらるゝのは

尤も其時機に適し社會に及す好結果は信じて疑はないのである今や内鮮人共同一家として國家百年の大計を建てるの時機に到來してゐる相互間の人情風俗が漸く接近して遂には一致せざるべからざるやうになつてる其端緒としては先づ家庭より之を改良しなければならぬ鮮人に於ては内地人家庭の優良なる點を取り内地人に於ては鮮人家庭として此れが風土に適し且つ必要なる點を取り畢竟混成優美の家庭を作り出すは是れ本會の主旨で觀覽者は深く此點に注意し比較研究せられたいのは余の切望に堪へざる處である



第一號舘取付中の人形

江原道協賛會と金剛山紹介

江原道協賛會にては共進會開催を機とし東海の景勝地金剛山を天下に紹介すべく一般共進會の觀覽者より遊覽者を勸誘募集し道廳と協力して種々の便宜を講じつゝあるが大體の施設計畫を聞くに外金剛に至るには既報の如く元山より海路長箭に至るものゝ陸路温井里に達するもの二あり其何れに依るも井は遊覽者の隨意とし内金剛に入るには長安寺（内金剛の入口）より摩訶衍（一里）神溪寺九龍淵間（一里半）萬物相入口より萬物相（二十町）に至るを順路とせるが此の間の通路は協賛會の施設に依りて過日全部完成又一方道廳の施設に係る京元線平康驛より内金剛の入口にある朱鉀（温井里より八里）に至る三十三里の道路は本月三十一日を以て竣工の豫定なるが竣成の曉は自動車を運轉し平康より一路内金剛に達せしむべくされば直接内金剛に入らんとするものは此の方面の道路によるを便とすと而して内金剛に於ける旅舍は長安寺表訓寺の二箇所に設け且つ朱鉀に案内所を設置して遊覽者の宿泊及び休憩に便ならしむると共に雜貨食料品の供給並に人力車自動車人夫の周旋山内賄所の請負を爲さしむべしと因に京城よりの往復中等四十圓なりと

群山商議選擧

各級議員當選

群山商業會議所に於ては既報の如く改正定款に據り九月六日午前九時より同會議所事務室に選擧場を設け天野委員長阪上樋口兩委員大澤會頭龜井書記等列席先づ二級議員八名の選擧投票を開始したるが二級有權者百〇一名の内投票者數三十一名に達し定刻午前十一時四十分に至るや之れを閉鎖し直ちに選擧委員以下官憲立會開票し嚴正採點の結果、十六點北岡鶴松、十五點中柴萬吉、十三點大澤藤十郎、十三點檜垣孫三郎、十三點伊藤光三郎、十點北川淳、十點弘津俊一、九點磯部謙哉等八名當選確定し暫時休憩、午後二時より再び午前同樣委員長以下列席一級議員七名の選擧投票を開始したるに一級有權者十七名の内投票者數十名にして定刻午後四時三十分に至り之を閉鎖し直に開票嚴重採點の結果十點東亞煙草群山出張所、九點朝鮮勸業株式會社、八點十八銀行群山支店、七點群山電氣會社、七點森菊五郎、五點不二興業株式會社群山支店、五點横山與市、四點下田吉太郎等當選確定したり

元山より

○咸鏡南道に於ける本年の農作物成育状況は各郡を通じて頗る良好にして昨年の實收穫に比し約二割増收の豫想なり各作物に對する收穫豫想を聞くに稻作第二回豫想高は二十七萬五千七百八十五萬石にして前年に比し二割大豆は二十五萬一千七百六石にして前年に比し二割九分二厘何れも増收なるも陸稻は二百三十九石にして前年より二割二分六厘の減收を示せり粟は成育良好にして收穫二十六萬九千五百十六石前年に比し二割七分八厘増收の見込なり

○咸鏡南道にては去る五六月の交新浦以北城津間の漁場に於て秋刀魚の試漁を行ひ居れるが其の成績を聞くに一寸二分百掛秋刀魚流網を用ゐ漁獲に從事せし所成績頗る良好にして殊に利原郡の如きは該魚が陸地近く襲來し多額の漁獲あり目下漁獲せる秋刀魚は概して油氣小量なる爲め鹽貯藏に適せり本年の試漁は過般終了を告げたるも目下鹽藏試驗中にて之れが成績良好なる場合は明年度に於て五十掛に鯖流網を付け大々的漁獲に從事する計畫の由にて概して咸南の沿岸は有望なりと

○洪水の爲め道路崩壞し元山温井里間の自動車は目下運轉を休止し居れるが曩きに元山土木局出張所より所員を派遣し被害道路實査の末復舊工事設計中なるも被害個所多數にして工事容易にあらざれば完成迄には早くも十數日を要すべく從て交通開始は本月下旬ならん尚一方地方賦役に依り修繕を要すべき場所は德源安邊地方なるが同地方は毎日百數十名の夫役を使用し復舊を取急ぎ居れり

○元山鐵道局建設事務所管内に於ける元永線工事近況を聞くに咸鏡線元永間第二工區工事中の土工々事は七分六厘橋梁工事五分一厘を終了し總體を通じて六分九厘の竣工を告げたり又朝鮮ホテル金剛山分舘の新設工事は去る八月四日京元線盤川砂利線の工事は八月十八日完成せり咸鏡線用地買收は元山永興間八分六厘の買收を遂げたり

○元山築港工事の準備として過般來就業中なりし海底地質檢査は既に大部分終了したるを以て一兩日前より岸壁地點に於ける載擔力の調査に着手せり尚工事著手の認可を俟つて甲種荷揚場の捨石工事を開始するに至るべし

商況

東京株式特電

七日	前場寄付	大引
日本郵船	八六、六〇	八六、六〇
日韓瓦斯	一一七、二〇	一一七、三〇
鐘紡上新株	九二、八〇	九二、八〇
大日本麥酒	一四八、九〇	一四八、七〇
東株第一	一四九、八〇	一四九、七〇
東新第一	一二三、八〇	一二三、七〇
東新第二	一二四、一〇	一二四、四〇

東京期米特電

七日前場　十一月限

	十一月限	後場
寄付	一二二、三〇	—
高値	一二二、四四	—
安値	一二二、一三	—
止め	一二二、二三	—

東京債券現物特電

七日出來値段　前日との比較

	出來値段	前日との比較
甲號五分利	六七、五〇	—

深川在米特電

七日　二三九、〇〇　—

公債直取引特電

七日		前日との比較
朝鮮事業公債	一五、〇三三	
整理公債	四七、六〇五	
四分利公債	一八八六、四〇一	
五分利特別	九五、〇〇	—
一回四分利	七九、八〇	—
二回四分利	九四、〇〇	—

大阪三品特電

六日前場　末着 [illegible]

大阪株式特電

六日　前場　同日後場　[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

七日前場（雨一點）　寄付　一二二、〇〇　一二一、九〇　一二三、七〇　止め

朝鮮物産特電

七日前場　寄付　三、〇〇　高値　安値　止め　[illegible]

十錢安

白米の各種　其他變動なし

雜報

賣藥製劑状況

戰局の後一般藥價の暴騰に伴ひ賣藥業は其困難の程度は益々加はる一方にて前途其の止まる所を知らざるの状態なるが還は言ふまでもなく原料の騰貴せる割合に賣價の引上げを爲し得ざるに因るものなり現に熱劑として最も多く用ひらるゝアンチヒリンの如きは一磅三圓盤のもの既に二十八圓盤に騰貴しヘブリン一圓七十錢より四圓七十錢へナセチン一圓七十錢より十六圓二十錢入劑ヒスの如きも三圓内外より九圓盤に躍騰せる今日にありても一方賣藥は依然として從前の價格を維持せざるべからざる事情あるため

製藥業者は次第に

困難の状態に陷れたる次第なるが其の結果勢ひ其の變更を爲すか内容包數を減ずるかの方法を爲すか儀なくせられつゝある状態にて甚しきは監督官廳への表面のみを繕ひ其の

質劣等品の混合

調劑をさへ爲すものありとの非難ありて斯く種々の窮状と悲鳴の聲じ居れるも拘らず今日一般製劑家は愈々困難の境に陷りつゝあるの實状なるが如しされば内地製劑家中には或る種のもの即ちアンチヒリン調劑の如きは既に停劑し居る向もあり

グリスリン昂騰

内地需用のグリスリンは從來英國を主産地として之が輸入を仰ぎしに時局後輸入著しく減少せし上に其輸入禁制品となりしを以て一層拂底を告げたりしが先頃迄支那に輸入したる品を内地へ輸送し多少需要上に便宜を得しも今日にては是さへ不自由を感ずるに依り内地に於ける同品を原料とせる各品の製造業者は忽ち困難に陷り從うて内地價格も從前は一封度二十七錢なりしも今日にては五十錢乃至

六十錢を呼

び尚ほ前途昂騰の氣勢を示しつゝあり

賣藥需用者の迷惑

…特に下級民の迷惑を反映するものとして留め得べし

酒精の近況

酒精は需要近況を聞くに…内地製品も漸次不味を告げつゝありて相場の下落なし…

餘儀なく多少の見切

…内地酒精が不振の望に抵分手堅き商状を持續しつゝあるは最近内地に於て…

積品あるが上に相當の堆

…

綿毛布好人氣

…は弗々ながら既に取引開始せられつゝあるが此際共進會の開期に迫り之が…

染料高

約一割方の昂騰

田中金兵衞　仁川海岸町三丁目　電話長六二八番・一五二番

精白値下げ

…一石に付三十錢の値下げ行はれ標準値十二圓六十錢を發表せり

籾漸次引弛む

…

織物並物忠清物及京畿黄海

…

梨は好氣配

…

小賣白米値下げ

…一升に付五厘方の値下げ…

下關相場

▲小麥は先づ保合　其後…
▲大小豆の現況…
▲肥料は不引立…

京城正米

…

京城雜穀

…

南大門の廻米

太田白米	四〇叺	平澤白米 八一叺
平澤白米	二七叺	平澤白米 一九八叺
天安白米	一〇六叺	水原小麥 二八叺
平澤玄米	一一〇叺	深川玄米 二七七叺
平澤玄米	三一〇叺	一山白米 一九〇叺
沃川玄米	二五叺	水原白米 三一〇叺
天安白米	九五叺	水原白米 一〇〇叺
平澤白米	四〇叺	餅店白米 三叺

仁川現物市場

入津約三千叺　…

生魚市場

…

仁川期米

七日前場

…

大阪八節四十七錢と高移

…

市場零聞

前場跳れ返す

…

値頃觀の買物稍々多し

…

或は一變

…

前場の商戰

…

連月の高値

…

仁川米豆取引所

七日の十一月限

前場	
寄附	九圓〆四錢
高値	九圓十五錢
安値	九圓十六錢
止〆	九圓十七錢
出來高	三千五百五十石

平均値段

一節	九圓〆三錢
二節	九圓〆八錢
三節	九圓十一錢
四節	九圓十三錢
五節	九圓十五錢

	買賣取組高
九月限	六千八百石
十月限	一萬千五百石
十一月限	一萬九千六百石

出來値比較	

株式だより

		前日比較
寄附	九、一五	一安
止め	九、〇八	七安
高値	九、一五	一高
安値	九、〇七	七安

角萬の持株賣

…

天候如何

…

警報を發し

…

東京と聯合分裂

…

青物市場

コイモ	三〇	ゴボウ	三〇
ダイコン	三五	ニンジン	二〇
レンコン	二〇	レイシ	一五
ナガイモ	一〇	ツクイモ	一〇
ナンキン	一五	タマナ	一五
ナス	五〇	キウリ	三五
アカメイモ	八〇	トノイモ	五〇
ギボ	二〇	シヤクシナ	一〇
ブダンタ	一〇	マピキ	五〇
カブ	五〇	ショウガ	三〇
ニンジンバ	一〇	インゲマメ	三五
フサビ	五〇	十六ササゲ	五〇
フジマメ	五〇	エダマメ	二〇
サヽギ	九〇	ハツタケ	二五
マツタケ	一五	カイワリ	五〇
ミツバ	五〇	ミヨガ	一五
メザシ	一五	アチト	一〇
ハウガヨ	一〇	トマト	五〇
ハスイモ	二五	サラダ	六〇
ペセリ	一〇	キノメ	〇〇
メキリ	一〇	トウガン	〇〇
ハナマル	二〇	アチチウ	一五
キウリ	二五		二〇

小賣白米

一等白米	十三錢
次白米	十二錢五厘

白米標準値

十二圓六十錢

京城府告示第十一號

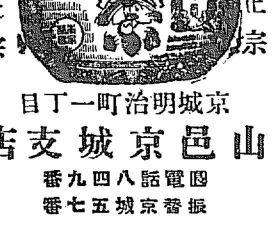
鍾路警察署管内ニ於テ秋季種痘及檢痘ヲ左記日割ノ通リ施行ス依テ生後九十日以上ノ未種痘者及種痘善感後五年ヲ經過シタル者並ニ初種者ニシテ不善感ナリシ者ハ各其ノ集合區域ノ施行場所ニ就キ種痘及檢痘ヲ受クベシ但當日雨天ノ時ハ所定最終日ノ次ニ繰下施行ス

大正四年九月四日　京城府尹　金谷充

大正四年秋季種痘施行日割表

種痘 施行月日	施行時間	施行場所	集合區域	檢痘 施行月日	施行時間	施行場所
九月八日	自午前九時 至午后四時	内資洞七〇番地 擇田金次郎方	積善洞、需昌洞、都染洞、唐珠洞、西大門一丁目、西大門二丁目、光化門通	九月十七日	自午前九時 至午后四時	梅洞公立普通學校
九月九日	仝	通義洞梅洞公立普通學校	昌成洞、通義洞、弼雲洞、社稷洞、内資洞、體府洞			
九月十日	仝	梅洞公立普通學校	玉仁洞、樓上洞、樓下洞、通洞、清雲洞、新橋洞、宮井洞、孝子洞			
九月十一日	同	花洞私立中學校	三清洞、八判洞、嘉會洞、花洞、昭格洞、諫洞、松峴洞、安國洞、桂洞	九月二十二日	自午前九時 至午后四時	鍾路尋常小學校
九月十三日	同	鍾路尋常小學校	中學洞、壽松洞、堅志洞、寬勳洞、清進洞、公平洞、鍾路一丁目、瑞麟洞、南大門通一丁目一番地乃至八番地、二十二番地乃至百二十七番地			
九月十四日	同	堅雲洞公立普通學校	仁寺洞、鍾路二丁目、貫鐵洞、慶雲洞、雲泥洞、齊洞、樂園洞、觀水洞、苑洞			
九月十五日	同	敦義洞長安社	勸農洞、臥龍洞、益善洞、鳳翼洞、敦義洞、授恩洞、薫井洞、鍾路三丁目、長沙洞			
九月十六日	同	崇仁洞崇正學校	崇一洞、崇二洞、崇三洞、惠化洞、崇四洞、東崇洞、梨花洞	九月二十五日	自午前九時 至午后四時	鍾路四丁目新興學校
九月十七日	同	鍾路四丁目新興學校	蓮建洞、苑南洞、蓮地洞、禮智洞、仁義洞、孝悌洞、鍾路四丁目			
九月十八日	同	鍾路六丁目東彰學校	鍾路五丁目、鍾路六丁目、崇仁洞、忠信洞、昌信洞			
九月二十日	同	冷洞市場	橋南洞、冷洞、平洞、竹添町一丁目、竹添町二丁目、竹添町三丁目	九月二十八日	自午前九時 至午后四時	冷洞市場
九月廿一日	同	冷洞市場	峴底洞、杏村洞、舘洞、橋北洞、天然洞、紅把洞、松月洞、玉川洞			

比較は最良の撰擇法なり



サクラ正宗　サクラ正宗

京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番　振替京城五七番

貯蓄預金
元金百圓ニ付日歩壹錢四厘
預金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城黄金町電話四二〇番、五八〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所　龍山旭橋町　電話一八番
諸預金貸付爲替等銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

大岡政談 越後傳吉

第百四十六席

桃川如燕口演　浪上毅一郎速記

多田三八は虚空藏山の城へ來つて見る處しにも勝る荒城、如何樣妖怪變化にても住んで人を惱ますかイヤさうも物凄い事いはんばかりもない。秋の中旬で千草に吟く蟲の音はジーヂツと聲を競ひ、蔦蔓床の上まで生上り、軒は傾き壁は破れ見る影もない古城、三五の月は皓々と照渡つて隈に映りて得もいはれぬ眺めでございます、三八はツカ〳〵城内の奥の方へ上つて參り 三『こりやアどうも宜い所へ來た、マア〳〵一杯やらう』とドッカリ其へ安坐を組んで腰に付けたる瓢を取り、懐中を探つて茶碗を取出し、ゴツ〳〵〳〵と注いでキューツと一息に飲干し、舌打鳴して 三『アヽどうも物靜かで誠に好い心持だ、どうも料理屋などで飲むと氣が落付かなくていかん、酒はかういふ靜かな處で飲むに限る、生憎看がないが是で看さへあれば結構、さて酒は何時飲んでも旨いもんだ』と頻りにガブリ〳〵飲り乍ら四邊に氣を配つて居る。其内に段々夜は更けて參り、ビユー〳〵といふ秋風に連れ、咲亂れたる秋草がサラ〳〵と波を打つと今まで聲を競つて居た蟲の聲がパッタリ止んだ。スルと奥の方からミシリ〳〵と地響きをさせて來るものがあるから、何者ならんと隱を定めて能く見ると、身の丈六尺に餘る大入道、身には大きな褞袍を著て眞赤な帯を締め、茶盆に茶を載せ 入『お茶をお飲み』三八は是を聞いてカラ〳〵と笑つて 三『コレ〳〵入道、狸や猫、貉は酒席の禁物といふ事もある、貴樣のやうな古入道が參つては酒は飲めん、貴樣はサッサと引退つて十七八の娘を出して呉れ、さうすれば酌をして貰つて酒も旨く飲める、氣の利かん奴だな、早く出直してこい』と三八が劍突を喰はせると大入道は其儘パッと消えて了つた。暫らくするとスタ〳〵と出て來たのは十七八になる美人 女『貴方お酌をいたしませう 三『イヨー是はどうも注文通り、サア〳〵此方へ來て酌をして呉れ、貴樣のやうな別嬪の酌なら無酒も旨からう 女『貴方、御冗戯ばかり』と差かしさうな顔をして三八の側へ寄つて酌をしようとすると三八が 三『イヨー！大層綺麗な手だな、モツト此方へ寄れ』と手頸を取つてグイと引寄せる 女『貴方何をなさるんでございます、アレそんな事をなすつてはいけません』と顔を顰め三八の側へ寄つて來る油斷を見澄して三八がグイと手を捻つてヤッと一聲肩に擔いで岩石落し、御殿の庭先を目掛けてズンデンドウと投付けた、キヤッといふと其儘死んで了つた樣子 三『アハヽヽヽ、是で宜い、獨りで旨く飲んで居る所へ種々なものが來やアがる、モー酒も無くなつたからドレ一寢入りしようか』とゴロリ其所へ横になると好い心持にグーグーツと鼾をかいて寢て了つた、此方は三八の家來、麓の茶屋に待つて居りましたが翌日になつても下りて來ない、扨は化物のために死んで了つたのではないかと心配して早速大勢の人を雇つて山へ上つて見ると三八好い心持さうにグーグー寢て居る 家『旦那樣〳〵』と起すとパッチリ目を開いて 三『アヽ皆な來たか 家『皆な來たかぢやアございません、どうなさいましたんで 三『イヤ昨夜隣ばらつて大儀だから寢てしまつた 家『何も出ませんでしたか 三『出た 家『コツ何が出ました 三『始め大入道が來たから俺は入道ぢやア嫌だ、酒が旨くないから代つて女を出せといふと入道も尤もだと思つたと見えて此度は十七八になる別嬪が出て來た 家『ヘエー 三『其から俺の側へ引寄せて頸ツ頸を取つて庭へ叩き付けるとキャツといつて參つて了つた 家『ヘエーそりやア大鋏だ』夫から庭へ下りて見ると石の上に何百年經たか知れない古狸が煎餅のやうに叩き付けられて死んで居る、一同大いに驚いた早速右の狸を繩で吊して大勢の者が擔いで三八が先に立つて甲州へ立歸り信玄公へ言上に及ぶ、スルと信玄公が 信『三八其方一人で參つて退治をいたしたか 三『御意にございます、手前一人で退治を仕りました』

▲わきが 短時療法

わきがの爲めに成効を妨げる例は少なくない如何に天才の人でも艶姿花の如き美人でも一度本病に犯されたが最後交際場裡よりは排斥せられ或は婚期を期し又は離縁の不幸に至り悲嘆の涙に暮れる人もある早くお治しなさい之が療法に苦心せし本郷順天堂發表の單時療法は秘密單時に治療し難症にも大効あるは數多全治の感謝狀に依て立證せらるお困の方はハガキにて東京本郷元町一の三本郷順天堂宛申し込めば無代發送す……

▲月やく

月やく止まつた時の御婦人方の御心配はありますまい世間に月やく藥は澤山ありますが疑品の多いのです茲に本藥品部發表の藥劑は實に驚く程ヨクキク而も身體胃腸を損せず無害である月やく止り月經不順等でお困りの方は東京本郷區元町一の三本郷順天堂藥品部へ封書で申込めば無代發送す

演藝案内

壽町 詩　館 電一〇五〇
▲愈る九月三日より五日間晝夜二回 不拘午後六時開演 世界的大奇術其他餘興 松旭齋天洋一行（十三名）賞懸附三大奇術 一マレイボックス（金一千圓）二寶箱（金五百圓）三沒自在トランク（金一百圓）其他種々開演仕候

武町 御成座 電話一二九一
九月四日百八十九回目
▲平素の御引立を厚く謝ます來る九月十日より新派劇進歩團一行を招き開演致します何卒倍舊御來觀を乞ふ ▲登場人名 伊東美次郎、石黒忠郎、杵木時夫、川上一明、芳川秀夫、吉田操、藤井隆之介、富士田要、澤野隆之助、酒田君夫、菊池鉄一、清川二郎、白川一志、日野高兵衛、小役水野静子

明治町 浪花館 電話二六〇
●革新浪花節花川國玉一行來る ▲九月七日より開演 ▲初日讀物 △勸進帳（都一登）△水戸黄門記（寶澤山）△五郎正宗、蛇山（二席京山駒吉）△孝子迷の印籠、紀州竹若丸（長講二席座長花川國玉）○晴雨に不拘當館は定刻午後七時に開演仕候

龍山 佐久良座 電六四八番
東京新派劇大江義雄一行 ●九月六日藝題 東京毎日新聞連載 井出蕉雨氏作「友」 ▲場割 日在村東浦海岸、濱濱旅館の一室、佐藤の宅、安進源造の宅、敏馬海岸、上野清水堂の中 ▲觀料大勉强金十錢均一

黄金町四丁目 黄金館 電話二六三七
天然色活動寫眞株式會社特約一手代理店 ●九月八日より寫眞全部差替 ○實寫カブクーの景 ○滑稽運轉手の奇智 ○泰西軍事大活劇「戰友」○喜劇 ピーターの射的狂 △泰西人情劇アンブローズ會社傑作「白馬」雨宮桃村說明、國榮の權化たらんとせし田舍娘は父母の膝下に歸り生活の自然と相反するを厭ひ翻然悔悟して田舍生活に一生を送れり ○菊池幽芳先生傑作新派悲劇「妻の秘密」全三卷 東洋現代の社界を直寫せる近來稀に見るの大悲劇なり

黄金町 世界館 電一四三四番
本町有樂館へ移轉の爲休舘仕候

櫻井町 大正館 電話八七三
●九月三日より特別寫眞提供 ●實寫佛國砲兵ダイナマイト使用の實況 ●喜劇新馬鹿大將衛生係の卷 ●滑稽不思議の眼鏡 ●佛國パテー會社傑作天然色彩 ○泰西冒險悲劇「天誅」全三卷六千尺 ○安全扉を發明せし飛行界の天才試乘の際誤つて數千の天空より墜落し後に發狂して兒の爲め惡辣なる惡紳士は陰謀を回り狂人を利用して無數の兇行を演じむ、二年後病者記憶の挽回は天誅となりて不逞の榮華の頭上に下る ▲日活會社專屬目玉松之助十八番の狂言 ○舊劇「番町皿屋敷」全三卷百十二場 ▲日活會社が刷新の實を揚げたるカチユーシャ以上の大作品 露國文學の開祖シーアキン氏原作 ○新派劇佛國軍事譚「士官の娘」▲例のカチユーシャ式に最新の撮影法を加へたる奇拔なる劇にして西比利亞の曠原に馬賊の跋扈、要塞の邊陬貴公子の戀、忠僕の一徹、令孃の赤誠悲痛の陰謀並變化轉倒して興味津々四面趣味の横溢せるを覺ゆ

胃病良藥 太田胃散
○飲過ぎ食過ぎに妙なり
藥價 十錢 廿錢 五十錢 一圓
本舖 東京呉服町 太田信義藥房
▲全國到る處の藥店に販賣す

遊漁船 御案内
仁川水族館正門前
釣道具 御小賣 芹川漁具店 電話七五四番

新秋の嗜

濃化粧に淡化粧にわれながら惚々するやうなお化粧の秘訣

帝劇女優 宇治龍子談

■野分の過ぎた翌朝ほど清々しいものはムいません、暑ぼつたい重苦しい空氣は生れ變つたやうに爽かに青い大空が限りもなう澄み渡りまして、渡り鳥の影が涼やかに窓に入ります時、嗚、秋だと感じました時程人の心も身體も締まるときは御座いますまい。何となくだらけたやうな夏の氣持が消失せてしどけなかつた容裝もきりつと致し、怠りがつたお化粧にも念が入りますやうな譯合、夏負けした方も、急に凹んだ目もぱつちり冴え、新秋は殊げつそりこけた頬が豊よかに淡黒く艶と響くやうな氣持もいたされまして、四季ながらの化粧ではムいますもの、格別に改つたやうな、新しいやうな、嬉しいやうな、仕榮えのあるやうな心地で。

■いそ〳〵鏡にわれとわが顔容を映すのが今日此頃初秋の御婦人の常で御座いませう。實際丹念な淡化粧が清らかな秋に照り榮えまする趣はまたとない艶やかさで厶います。

レート洗粉で皮膚の榮養を資けながら清淨と汚垢を落し、脂肪性の方なら乳白化粧水レートを擦り込むやうに、荒れ性の方ならクレームレートをマッサージ式にお塗けになつて、申し分ないまでにお美しく白粉附のするやうな柔軟な細い艶のある地肌にお調へなさいました其後で、白粉下にレートチユリーの少量を軽く萬遍なく指の腹でお擦り附けなさいますと、元來が大變に伸びよく肌に適む地肌で御座いますから、此の指の腹で摩擦すると申すことが、美顔術の原理にぴつたり當て箝るので、まだ白粉氣もない粧らぬ素顔のお美さへ、つひもう見とれます位、況てやレート固煉白粉を透明化粧水レートで溶いて額筋襟足と、くつきり

■濃い襟化粧を先づ華やかになさいまして、それから心憎い程お落付のしつとりした附伸びに申分ないレート濃白粉で最初に鼻を粧りまして、お顔の上の部分は漸次に薄くほんのり暈かし、下の部分は次第に濃い目に致しまして襟化粧と程よく適みますやうお粧り遊ばしたら、まあどんなにお美しいで御座いませう。これは眞似の濃化粧に就いて申上げたので御座いますが、それとはまるで風情の違ひまする清楚な粉白粉のお束髪化粧もまた格別な味のあるもの、クリーム界の覇王の名に背きませぬクレームレートを下に引きまして（このお化粧下は場合に依りましてはレートチユリーでも差支へ御座いませぬが）其上ボットかセーム革かでレート粉白粉を楚々とお刷きになつたお品の善さ、お淑やかな丸髷、島田、銀杏返し、さては割桃の初々しい濃化粧の艶かしさに較べましても、就中何れ劣らぬ花と花、ほんのりと色白くする、レートフードで自然の肌を先づ艶やかに致しました其上をレート水白粉で粧ひまする水際立つた淡化粧振の粋な花を舫へますれば、氣高い花と優しい花と、

■二樣二態の亂れ咲 お美しい上にも美しくとのお嗜にレート打白粉や紙白粉、さもなくば新打ち粉でお化粧直し遊ばしたら、擦れ違ふ度に思はず人が、あらお綺麗なと振返へることで御座いませう。賢くも此の樣に出來ます化粧料は内外に濃淡思ひのまゝの完全なお化粧が大博覽會に金牌を受領し、且つ宮内省、皇后宮職、各宮家御用命の光榮を荷つて居りますにも係らず、尚日夜白粉初め其他の美容料美身料の品質製法の改良に苦心しつゝある平尾賛平商店のレート化粧料の他には決してないので御座います。

ほんのりと色白くする レートフード 新發賣

嫁ぎ行く御婦人

簞笥長持鏡箱 晴の仕度は整ふても 身體に手落ありては一大事

病隱して嫁ぐ身は 幸ある一生涙に終るもこそなれば

結納交はす以前に

靈藥 中將湯を召上り

手落なき樣御注意あれば 身體强壯でも千代迄も

幸福多き良妻賢母

定價	
二日分	二十錢
四日分	三十五錢
一週間分	六十錢
二週間分	一圓十錢
三週間分	一圓六十錢
五週間分	二圓五十錢
十週間分	四圓五十錢
廿週間分	八圓五十錢

▽本舖には多年研究の結果得たる加減湯あり御容態詳しく御報知あれ
加減湯定價 一週間分 七十五錢 四週間分 二圓五十錢

■左の御容態の方は中將湯を召上れ
○市内即時配達す 地方送料不要

●婦人神經（ヒステリー）血の道にて氣鬱き頭痛より物を苦し夜眠れず ●子宮病子宮内膜炎にて白帶多く腰たれ又下腹腰足のひきつり痛む人 ●月經不順月經滯り等にて吹出物多く又何となく身體重き人 ●逆上、頭痛、眩暈し肩こり腰足冷え ●息切れ動悸く手足痺れ水腫む人 ●十七八歳になりて月經なく血ぶとり又月經前後に下腹痛む人 ●白帶赤帶帶下多く顔色蒼白き人 ●冷症にて懷姙流産の癖ある人 ●産前何となく常ならざる人、吐喝、産後古血の滯り或は日立の惡き人 ●月經不斷に起因する諸病にてぶら〳〵と惡き人

本舖
東京市日本橋通四丁目 津村順天堂本店 電話本局六二番、六三番 振替口座六〇八番
大阪市堺筋大寶寺町南入 津村順天堂支店 電話南二十五番 振替口座四五六番

■中將湯は世界各國到處の藥店にあり

第三版

京城日報

年中無休刊
(大祭祝日翌日休刊)

本紙定價 一部金三錢 一ケ月金五拾錢 前金一ケ月金五拾錢郵送料共
廣告料
發行兼編輯人 奥田直太郎
印刷人
京城太平通一丁目
發行所 合資會社京城日報社

大阪三品

▲七日後場
九月限 一〇八、五〇 一〇八、九〇
十月限 一〇九、九〇 一一〇、〇〇
十一月限 一一〇、六〇 一一一、四〇
十二月限 一一二、四〇 一一二、四〇

下關期米

▲七日後場(當限利喰支へ)
寄付 一一、九五 …… 一二、二五

二十錢引先九圓十錢と五錢安に寄付二錢と跳ね十錢と押したるも市場買乘警にて買込み來る手筈なく折柄大阪所四十四五錢との移りにて買物頭はれ十六錢と迄伸し五錢さ小與き散會
▲賣方

▲當限の解合

當限三百石九圓三十錢にて解合として解出したり少數の問題なるも正米高保合の折柄中先に比し上鞘なるは是非なき成行ならんも如何に先限は買遡り居るかな知るに足らん

日露關係

京城日報

近來歐洲より來る電信每に日露同盟說を傳ふるのみならず、支那其他諸地の新聞紙上日露兩國間の干繫を喋々するもの甚だ多きは、時節柄當然の事と云ふべきなり。日露同盟成るべきや否や、其事全く將來に屬し今此に之を云ふに由なし、只兩國關係今日最も親善なり、且我と露西亞とは、獨逸墺洪國といふ共通の敵を有するを以て、此戰局に就て自ら同盟關係の下にあるものと解するの外なきなり。

最近露國新聞の日露同盟を說くもの甚だ痛切なる上に、露國政治家にして日露共同の必要を說くもの極めて多きは、何人も能く知るところなり。特に今月初開會したる露國國會に於ける思潮も亦最も親日傾向を示すものありと云ふ。是等實に日露兩國に取りては好機運と謂ふべくして、兩國民共に相知り相依りて其取る所を一にするは吾人の最も望む所なり。

而して露國の立場より云はゞ、我日本は既に其味方なり、同盟者なり、最早懸念すべきことなきなり。獨り巴爾幹諸國に至りては、其嚮背未だ定まらざるものあり、露墺と其境を接するところの羅馬尼亞すら、或は局外中立と稱し、或は墺洪國と戰を開くと稱するも、遂に其去就を決せざるのみならず、動もすれば輙ち獨逸の爲に軍器品を供給の便を圖りたる形跡あり。希臘は其宗教上の關係もあり、又獨立以來の歷史的關係巴爾幹に於て、最も露西亞に親善なるに拘はらず、其れすら嚮背定まらず、過日一たび起ちて土耳其攻擊に參加せむとしたるも、中道にして曖昧模稜の間に沒し去りたるは遺憾千萬なり。露國今日の急務は目睫の間にあり、是等巴爾幹諸國を引いて共同盟者と爲し、墺洪國に當り、及び土耳其を斷くの計を定むるあらば、必ずや戰局を進むるに於て大裨益あるべし。

併しながら巴爾幹諸國の如きは畢竟洞ケ峠の上に陣取るところの筒井順慶なり、戰場を瞰て旗色の好き方に味方せむとす。過般露軍ガリシヤを取るや、羅馬尼亞は主戰論に動かされて墺洪國々境に兵を動かし、露軍敗ば利を失うて退くと聞けば、則ち局外中立と稱して專ら形勢を觀望す。羅馬尼亞は其同人種の人民の居るところを已に收むるの外に野心なく、其目的とするところは墺洪國のトランシルヴアニアも露領ベサラビヤとなり、其の勝者に與して敗者より土地人民を割取せむとす。希臘勃牙利諸國民亦其心術を相同くするものにして、我大日本帝國の如く正義と任俠とを大本義と爲し、其親むところを擇び、利害得失を問はざるの風あるものと、日を同くして語るべからず。是れ露西亞人の深く我に依賴する所ある所以なるか。

朝鮮開發の五年

四、半島統治の機關(一)

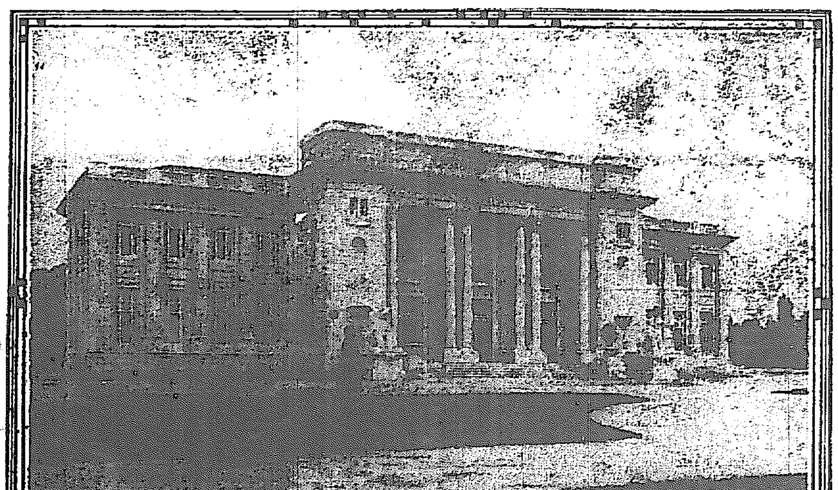
中央行政

韓土の社稷素と我國と同じからずして幾度か革命易姓の厄を經、上下相率ゐて庶弊の極に陷れりと雖も、境域は一萬四千方里、人口は一千三百餘萬堂々たる國家の體裁を具備す、從つて朝鮮總督府の規模形式も亦一國家と全人民とに對する統治に適應せしめざる可らず、殊に新附の版圖に蒞む其政策は一方には恩を施こし恩を加ふると同時に他方には不拔の威信を保持するを要す、之れ諸般制度の完備を特に急要とする所以也。

倂合條約公布と共に寺內統監は總督に、山縣副統監は政務總監に任ぜられ、朝鮮總督府は總督官房、總務部、內務部、度支部、農商工部、及び司法部の一官房及び五部に分れ其他所屬官署として中樞院、取調局、警務總監部、裁判所、鐵道局、通信局、專賣局、臨時土地調査局等あり各部局には長官を置けり。以上の官制は倂合の際從來の複雜なる政務機關を統合緊縮し四圍の狀勢に鑑みて統治の新制を定めたるもの之を總督府初步の行政組織となす

然るに明治四十五年四月に至り諸般の行政施設漸く其緒に就きたるを以て過去一年有半の實驗に鑑み行政及び司法機關の整理と政費の節約とを圖り、即ち現狀に適切なる改正を加へ、苟くも產業の開發に資すべきものは必ずしも機關の擴張新設を避けざるの方針に依り改廢を行へり此の行政整理の結果總務部を廢して其事務を官房に移し、又取調局、印刷局及び專賣局を廢して其の事務を他の部局に分屬し、官房に土木局を新設して從來各部に分屬せし築港、道路、治水、營繕に關する土木行政を統一し、又司法機關に於ては從來の區裁判所、地方裁判所、控訴院及び高等法院の四級制を改めて地方法院、覆審法院及び高等法院の三級制と爲せり。

行政の整理は右に止まらずして、大正元年以降三たび整理を續行して冗員を陶汰し經費を節減せり。斯の如くして前後四年に亘り節減されたる經費は約一千百萬圓に達し官吏の俸給のみにても凡そ百四十餘萬圓の節約なり。而して本年五月に行はれたる第四回目の整理に於ては從來の九局中、總務、土木及學務の三局を存して外事、地方、司稅、司計、農林及び殖產の六局を廢し、本府と所屬官署とを通じて事務の增減、人員の按排を爲せり。



美術館——朝鮮物產共進會

斯くの如く行政の整理經費の節減は殆ど歲々に斷行せられたるも、而も行政上の事務は年々に增加し國庫の補充金は歲每に減額し、當初は一千二百三十五萬圓なりしものが本年度に於ては八百萬圓となり、而して大正八年度に至らば全く母國よりの補給を仰がずして財政の獨立を爲すべき筈なり。然れども百事草創の時代に在りては事業に投資すべき目甚だ多く、之が爲めに總督府の事業資金として發行されたる債券及び借入金額は六千萬圓に達し、之が元利償却の途亦忽諸に付する能はず、朝鮮統治者の苦辛慘憺推して知るべきに非ずや。

朝鮮統治の中樞神經たる現在の總督府は倭城臺に於ける舊統監府の假建造物に造築を加へたる一時的建物にして將來は舊景福宮跡にて今の共進會場となれる所に新設せらるべき豫定なり總督官邸も亦舊公使館の建物を一時使用せる假官舍にして早晚總督府と共に移轉せらるべきものなり

附記、朝鮮開發の五年間につきて本紙は極めて概括的に記述し只要領を知るに止めんとす。若し精細詳密なるものに至りては共進會を機として或は總說的に或は部分的に多數の材料の公けにせらるべきが就中總督府に於いて發行せる『朝鮮彙報』の九月號は全紙始政五年の記事を滿載し繁簡宜しきを得て朝鮮開發の大勢を知るに最も便なるが故に茲に紹介す

避暑漫筆

大谷光瑞

九、諸葛武侯(承前)

武侯此の一擧により天下三分の大策を成功すと雖も國用足らず大兵を調ふる能はず故に四川を占領し豫定の如くこれより財賦を徵す此時武侯は內務大臣と大藏大臣を兼ね元帥參謀總長の職を執らず蓋し彼一面羽飛等の宿將の面目を維持すると共に現時の財力にては到底魏軍の敵に非ずと看破せしによる抑も武侯の敵とする所は曹公にあり魏軍にあり何故に魏を敵とし吳と結ふや蓋し魏を結び吳を滅するは易し然れども吳滅せば魏必ず兵を我に加ふべし此の時に當て魏の強大を制禦するものの無く我全魏の鋭を當らざるへからず武侯の明智此知り易き理を知らざるに非ず故に吳を存するは魏を窘むる爲なり况や吳主明なりと雖も遂に武侯の下にあり曹公に至ては武侯と伯仲し之を馭するは吳主の比に非ず故に吳を援て魏に當れり彼の四川を選びしは四塞の地にして外敵の容易く來る能はざると內財賦足り人衆多きによる由來秦川(渭水)を有するもの天下に王覇たりしは東方長河陝潼の隘路を有し南終南太乙の險を以て敵とし我便なれば出で利なくんば退て關を閉づ六國秦を窺て終に渭上に至る能はざるは此理による武侯此を知る故に四川を以て秦川に代んとす而して數世之に君臨し魏の政の衰ふるを待たんとせり約言せば少なくも曹公の死を待ちしもの丶如し時に先主帥歸にあり張飛部下の爲め殺され關羽吳主の爲め欺き殺さる三人結義の兄弟今や二人を失ふ張飛は不得止るも關羽に至ては吳主好みを破り荊州を掩有せしによる仁厚の先主二人の死を悼むと共に憤慨大兵を率ゐ流に沿うて下り夷陵に至る(今の宜都の附近)而て吳將陸遜の破る所となり全軍覆沒纔に身を脫して歸る此の戰敗たるや毫も武侯の知る所に非らず先主關羽の爲め弔戰し却て自ら弔せられざるを得ざるに至る仁厚にして智なきの餘敝は往々此に至る武侯後成都に於てこの戰敗を聞き吾知め計に參せばこの過を爲さしめずと懺悔嗣ざるもの丶如く自ら請て夔州府に至る當時先主此に在り魚復宮を改め永安宮と名け宮城となせり先主戰敗の時蒙りたる創拔又發し終に起たず死に臨んで武侯に後事を托し嗣子輔くべくんば之を輔け不才の如くば君自ら取るべしと武侯涕泣して曰く忠節を效し之に繼ぐに死を以てすべしと先主後主に勅し武侯に事ふる父の如くせよと如此悲慘の局を以て先主の一生を掩へり蓋し武侯の十五年成都に在るや一意魏を伐つの準備をなせり然るに先主の失計により夷陵の一戰精兵十萬堅甲利兵府庫皆空し武侯魏を伐つの策一大頓挫をなせり我推ふ吳を伐つの計武侯議に參せもと雖吳を伐んとするを知らざるに非ず成都の守備重大なりと雖も事國運に關せず故に知り難し捨て議に參する能はざるに非ず箇中の消息史家此を傳へず故に知り難しと雖も君臣水魚の中猶ほ云ふべからざる事有に非ずや(八月五日大連に於て未完)

日報俳壇

燦子郎選

濟州島より(十二句)

調査終へて歸路淋し百合夕　浩舟
山百合に圖面廣げて滋石哉　同
晝顏に丘に上れど陸見えず　同
晝顏や牛午睡せる休耕地　同
夕顏や大洋に暑さ沈む頃　同
罵れど瘦馬悲し日の盛り　同
岡牛の果つとも見えず日の盛　同
放牧の牛千頭や雲の峰　同
夏空や海女五百人浮ぶ海　同
蟬鳴やとても通せぬ島言葉　同
花芙島人我を敵視せり　同
夕顏や潮滿ちて湧く岩淸水　同

山東の沃野
烈日の畑に農夫や黍の雲　橙黃子

濟南府
日盛の人寄り住めば大都哉　同

同大名湖
夜切に舳釣るは市の漢子哉　同

江戸川會

同人の送迎には大抵江戸川で飯を喫ひながら出題目の一句づゝを作つて大いに笑ふのが吉例である、我等同人は此數年來一人死し二人去りして餘す處僅になつて終つたこれは此二三年殆んど會合をせぬ爲めであつた、處が又玉雪君が突然江戸へ去ることになつた、いよいよ減つて了つて何だか最後の一人を送るやうな氣がするのである六日の夜京都から來遊した泰山君を一席に迎へて一夕大に喫つて笑つた飮むの只島一人但し飯も一人前は裕に平げた

留別
いよ丶立惜む南山も秋となり　玉雪

即吟
相見れば相知るや夜の長きかな　泰山
こゝら秋立つ里帶の雪帶の山　玉雪
四人下戸一人上戸の今年酒　鳥堂

送玉雪君
大陸を踏み歸る君江戸の秋　虎耳
瓢簞の蔓に背くや糸瓜虫　鳥堂
玄海を打越えて長し松の花野　目池

東京まで(三)

杉原田柿

侯館驛
驛鈴のプラットや午下の荻こぼる

車中雜詠
四民たゞに一路を欲りす秋晴れて
一路平安吳越同車の秋晴るゝ
(驛頭に入りてより一驛を過ぐる每に附近內地人の集團を加ふる如し)

密陽驛
山城指呼のうち落飴の鄕過ぎて
(三浪津あたりより暖氣しきりに到る)
熱睡の果や釜山に覺めし月

朝鮮彙報

共進會記念號

朝鮮彙報 大正四年九月一日發行

主要目次

◎口繪 共進會々場全景、一號館、一號館の內部、二號館、機械館、參考館、審勢館、美術館、舍利塔、三體佛像、慶會樓、景福宮の一部

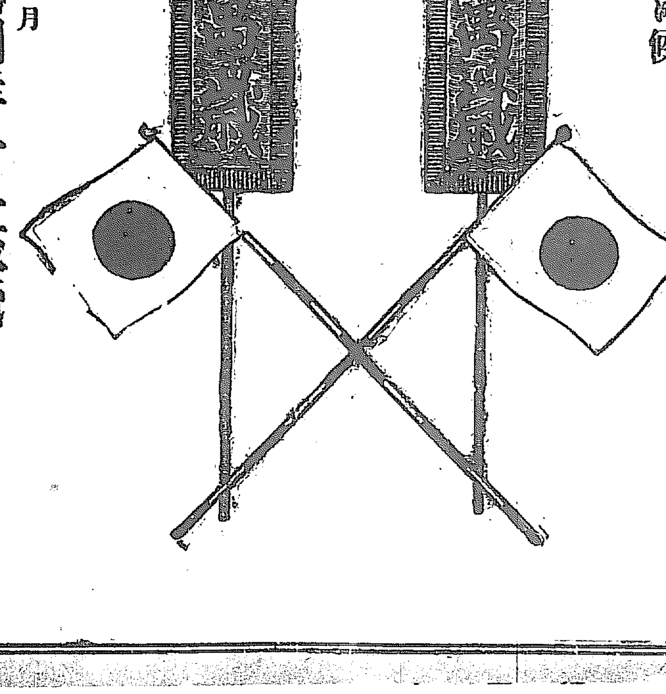
◎◎挿繪 朝鮮各地の風俗、景勝及各般の施設約百箇を滿載す

◎記事 共進會の狀況を詳述し、玆中央及地方行政、敎育、宗敎、財政及金融、交通產業、貿易、司法、警察及衛生其の他諸般の事項に分ち併合以後五年間の施政の進步、經濟力の發展を精細に叙說す

◎附錄 外金剛隨行記、朝鮮經濟力の進步を示す統計及び最近五年司法成績の統計を掲ぐ

●本誌は二百八十頁の大冊子にして代價は僅かに金二十五錢とす
●朝鮮內各地書店に於て販賣す

本年十一月の御即位式に際し此萬歲旛こそ最も奉祝の意義に愜ひたるものとして歡迎を受け各地官衙其他一般より續々豫約の申込も有之候につき御採用御申込あらん事を希ふ
豫約輻輳の爲め貴需を謝絕する恐れ有之候ては遺憾に付此際至急御申込を希望致し候
各位の御便宜の爲め募集員を出張御伺爲致候に付き直接御協議豫約被成下度候也
萬歲旛の掲揚は左圖の通りに候



大正四年九月
萬歲旛朝鮮一手販賣
京城日報社代理部
振替口座京城三〇〇番

●帝政運動
東三省益盛ん

北京商務總會は奉天商務會へ國體變更を袁大總統に請願の件に付き贊成を求め來れり東三省の帝政運動は新任段上將軍の君主制採用の請願後益々盛んとなり官憲は各地にグードノウ博士の君主共和論の飜譯を配付しつゝあり(奉天特電)

●新舊將軍挨拶

段上將軍及び張上將軍は共に七日午後各國領事館を歴訪し各自新任と告別の挨拶を爲せり尚ほ段將軍は兩三日中に東三省軍事會議を召集すべし(奉天特電)

●對支外交打合

六日歸朝せる日置公使は七日午後一時五分大隈首相を官邸に訪問し對支外交上の要務に付き報告し尚ほ日支親善の方法に付き協議を重ねたり(東京特電)

●石井大使出發

馬耳塞來電に曰く石井大使は六日出發歸國の途に就きたり(倫敦特電)

●勅使御差遣

天皇、皇后兩陛下には七日井上侯爵葬儀施行につき葬場に左の通り勅使御使を差し遣はされ御代拜せしめられたり(東京特電)

天皇陛下勅使 侍從男爵 澤宣元
皇后陛下御使 皇后宮主事男爵 東久世秀雄

●李王世子演習

近衛歩兵第二聯隊に御入隊の李王世子殿下には士官候補生の御資格を以て六日聯隊野外演習參加の爲め習志野へ御出張ありたり(東京特電)

●土生氏の贈位

畏き邊りにては本邦實驗眼科學の鼻祖たる土生玄石翁の百五十年記念祭を東京に於て施行の趣聞召され翁が生前斯界に貢獻したる功績を錄し七日特旨を以て位記を贈らる(東京特電)

贈從四位 土生玄石

翁は廣島縣土生村の人にして初め幕府に仕へ後和蘭人に從ひ眼科學を研鑽し大に得る所あり斯界の爲めに竭くせり嘉永八年疾を得て逝く年八十七

●三井家の寄附

三井家にては今回癌研究會へ研究資金として一萬圓を寄附したり(東京特電)

雜報

●國有林野調査
一般の注意を望む

國有林野秋期調査は九月初旬より開始の筈なるが本年は春期未濟の分なる成鏡南道北青、洪原、京畿道廣州、安城の各郡をも査了す可く調査班は入班にして忠清南道管內瑞山、唐津、禮山、公州、洪城、青陽、保寧、舒川、扶餘の各郡(調査除區域を除く)は十月初旬より全羅北道管內全州、金堤兩郡は十月初旬、黄海道管內瓮津郡は九月下旬より何れも調査を開始す可し之が調査に就きては本紙既記の如く調査區域內の國有地に近き林野に關係ある人民は此際出來得る限り實地の調査に立會し調査員に對して事情を具申する事最も必要にして且つ各自の利益なれば關係者は豫め注意を拂ひ萬遺漏なからむことを期せざる可からず

●八月中の朝鮮貿易
貿易額總計七百卅餘萬圓 ‖輸移出超過十六萬餘圓

▲輸移出入額 八月中に於ける朝鮮貿易は輸移出額二百八十五萬九千餘圓にして之れを前年同月に比すれば五十一萬七千餘圓を增加し、輸移入貿易は四百四十六萬七千餘圓にして卅二萬千餘圓を減退したるを以て差引出入合計に於て當月は前年同期に比し二十九萬五千餘圓の增進を告ぐるに至れり

▲輸移出品類 當月の輸移出品は米百十一萬一千餘圓、繭三十萬八千餘圓、豆類十五萬五千餘圓、牛皮十六萬五千餘圓及び魚類十萬四千餘圓を主要なるものとし、之れを前年同月に比較するに米十萬五千餘圓、繭二十七萬八千餘圓、豆類六萬八千餘圓、牛皮六萬七千餘圓、魚類二萬餘圓の何れも增加を呈したるを以て煙草に於て十一萬九千餘圓を減じたるも合計に於ては如上多大の增進を見たり

▲輸移入品類 輸移入品は綿糸及び綿布の百二十三萬餘圓を主として綿布、紙、砂糖、石炭、木材等何れも十萬圓以上の入荷を見たるも而かも之れを前年同月に比すれば概して不況を免れず今減退の顯著なるものを擧ぐれば米の二十二萬餘圓、木材の十三萬七千餘圓、砂糖の七萬九千餘圓、小麥粉の八萬二千餘圓等にして合計に於て二十二萬一千餘圓を減少するに至れり

▲港別貿易額 當月の貿易額を港別に觀察するに之れを前年同月に比し輸移出に在りては鎭南浦、京城、及び群山の外は悉く增加を示し殊に釜山は當月繭の移出旺盛なりしと元山は露國向軍需品の出荷ありたる爲め著しき增進を告げたり、次に輸移入に至りては京城、淸津、新義州等に稍々增加したるも仁川、釜山、等の主要港に於ては何れも尠からざる減退を計上したり

▲主要貿易品 今當月中の輸移出入品中五萬圓以上のものを列記すれば左の如し

輸移出主要品(五萬圓以上)

品目	本年八月	一月以降累計
米	一、一一一、九〇〇	一三、〇〇六、四三八
豆	一五五、六六八	二、三八一、四一一
繭	一〇二、二五一	三七三、〇九七
乾魚	一〇八、二四五	六六二、三七四
金鑛	六〇、一五六	六九二、三六一
鐵鑛	五一、四五五	二九二、八六〇
牛皮	一六五、一〇三	一、五四六、八四五

輸移入重要品(五萬圓以上)

品目	本年八月	一月以降累計
粟	六四、五三八	七四四、二五四
小麥粉	七九、一三一	四四一、六三八
食鹽	六三、一七三	四九八、二九三
砂糖	一六六、三三七	九九九、四四二
繰綿及打綿	五一二、二三六	一、一八四、一二二
綿絲	二一一、八九一	一、三七九、三七一
生金巾類	五八九、八〇一	三、七三二、六七一
晒金巾類	一九七、七七一	一、〇七〇、三七七
日本木綿	一五〇、六七八	一、〇一〇、五九七
毛織物	五七、五三五	三五八、二五二
絹織物	一〇六、五七一	四三三、三〇二
紙	一一六、四五四	九六一、九六五
熟鐵	五四、四二六	四八六、五八三
諸機械	九五、六二八	八三七、〇六七
石炭	一一五、四一四	一、一〇四、五六五
木材及板	一〇八、五四三	一、〇一三、九五五
セメント及石灰	七六、三〇二	四四三、九一一
燐寸	五二、三四四	三三六、三一三

●最近鐵道輸送狀況
前年に比し好況

本旬中出荷の主なるもの石炭九、〇三〇噸、米五、四四八噸、木材四、四三四噸、鑛石一、三五八噸、雜穀九九九噸、大豆五九一噸、鹽五六二噸、鹽乾魚四五二噸、明太魚四四六噸、鐵三九四噸にして前年同期に比し增減の著しきもの左の如し

▲增加 石炭五、二九〇噸、木材二、二五六噸、米一、九二八噸、鑛石六二一噸、雜穀四八二噸、大豆三四九噸、鹽一九九噸、鐵一九六噸(減少なし)

即ち本旬も亦大概增加を示し前年同期に比しては隔段の好況を示せり然して減物に就ては殆んど擧ぐるに足るものなし左に主要貨物の出荷狀況を概記せんに

▲石炭 は本旬に入り安東發撫順間の出貨稍閑散に傾きしも平壤鑛業所炭は依然荷動旺盛にして寺洞、中山里、美林より日々六百十四噸を出貨せり前年同期に比し五千二百九十噸の增加を示し主要發送貨物中の主位を占む

▲米 相場一上一下定まりなく從つて出荷不定にして日により二百噸臺を示すあり或は五百噸臺乃至七百噸臺に上る事あり五百噸以上の出荷は端境期としては異例に屬すと云はざるべからず然れども一般に前旬來增加の氣味にして追々新米の出廻りも近づきつゝある折柄なれば農家は相場に於て幾分の好氣配を示さば容易に放賣をなすもの〻如し

▲木材 本旬に入り一層の增加を示せるは鴨綠江新義州荷扱所發木材の出荷旺盛なるに據るものにして全數の殆ぼ三分の二を占め殘餘は安東、高山、洗浦、三防、議政府、仁川、餅店等の出荷に係る前年同期に比し二千二百五十六噸を增加し引續き好況を呈せん

▲鑛石 本品の一躍主要發送貨物中第四位を占むるに至れるは新義州荷扱所發草梁著金鑛石(七百二十八噸)及び新安州發安東著鐵鑛石(四百六十八噸)其他成歡發仁川著鐵砂、天安發草梁著金鑛石等の輸送盛況なりしに依るものにして前年同期に比し六百二十一噸の增加を示せり

▲雜穀 小麥の荷動き依然好況にして其主要出荷地としては興水、鳥致院、沙里院、龜浦、黄州、黑橋等にして仁川、釜山、東大門、鎭南浦、挹峴等に集荷せらるゝもの最も多し其他小豆、粟等の荷動きもあり前年同期に比し四百八十二噸の增加を示せり

▲大豆 出荷緩漫にして移出稍や不振を呈せり而して荷動き區域を見るに龍山、金郊、漣浦、鐵原、汶山、義州、漣川等より內地(天滿、大阪、尾の道、門司、梅小路、博多、矢部川、港町、兵庫)に向ふもの最も多し

▲鹽 本旬に入り出荷增加せるは逐な漬物時季に向ひ進に需要を喚起せるが爲めにして鎭南浦、朱安等の官鹽及び釜山、仁川、木浦其他新義州荷扱所發關東州鹽等の出荷好況を呈し引續き荷動き盛況を呈せん

▲鹽干魚 依然草梁及び元山發鹽鯖鰮の出荷好況なるも前旬に比しては幾分の閑散を呈せり

▲明太魚 元山及び草梁發頗る盛況にして前年同期に比し百八十二噸を增加せり

▲生牛 七月下旬來本品の輸出は依然好況にして本旬にあつても新幕、水原、開城、沙里院より釜山鎭經由內地に移出せしものは犢を交せ九十六頭を算せり

●本年の米作
鮮內各道の作物
平安北道

▲水田は良好 本年の米作狀況に付最近調査せる處を見るに水田は管內一般に植付後の發育極めて佳良にして水田としては天候も晴雨順當を得隨つて灌漑潤澤にして用水の缺乏を告ぐることなく今日迄至つて順調に經過せり但し處によりては浮塵子、螟蛾等の蟲害を被りたる地方なきにしも非ずと雖も是れとて被害程度極めて輕微なるを以て今後の天候に大なる變異なき限り先づ豐作を見るを得可く收穫高は四十八萬七千五百二十六石に達する豫想にして前年に比し三分二厘方增收の見込也

▲陸稻は不良 本年の天候は前記の通り水田には極めて適順なりしと雖も陸稻には濕氣比較的多きに過ぎたる嫌あり之が爲植付後の發育良好ならず加ふるに夜盜蟲の被害甚だしかりしを以て現在の豫想にては收穫高四千七百六十一石を出でざる可く前年に比し約一割八厘方減收の見込なり

▲重要の雜穀 ▲粟 今夏の霖雨にて發育良好ならず加ふるに出穗期の旱害と冷氣の來襲とに多大の被害を受けたる上更に夜盜蟲の被害あり收穫豫想は十一萬二千五百十八石前年に比し約一分減收の見込▲大豆 本年の天候は大豆作には降雨多きに失し耕地過濕なりし爲幹莖軟弱にして且だ徒らに丈のみ長く伸び過ぎたるの傾あるのみならず葉腿虫の被害甚大なるものあり收穫豫想は二十二萬七千四百十九石前年に比し一割五分二厘減收の見込▲棉 濕氣過多の爲め是亦發育不充分なり收穫豫想二十七萬〇五百六十八貫前年に比し四分一厘減收の見込▲其他 玉蜀黍、蜀黍等は收穫見込未詳なれども蒔季發芽良好なりしに反し其後雨天多きに失し豐作とは稱し難きも大抵平作を得るならんか

忠南大田地方

▲植付後の發育 植付當時は近年稀に見る旱魃なりしため水利不便の地にありては植付と同時に田面乾固龜裂を生ずるに至り生育を害すること甚しく悲觀の外なかりしが八月九日に至り喜雨を得て生育頓に進みたるも多少の減收を免かれざるべく水利の便ある水田は溫度高かりしため生育良好にして平年以上の生育を遂げつゝあり

▲田水と天候 大田地方にても柳川、儒城兩面の如き水利豐富なる狀を有する地方は灌漑水に不足を生ずること無きも大水畓は甚だしく不足をなせりされど今回の喜雨を得て目下充分の灌漑をなすを得るに至れり、植付當時は旱天打續き溫度も亦九十四五度を示したるにも八月九日より屢々喜雨あり溫度も漸次低下せり前述の如く旱天打ち續きたるため病蟲害の發育もなく尚喜雨を得たる爲め漸次發育增進し偶々出穗するを見るに至り農界は稍々樂觀の模樣なり(完)

●仁川附近漁況
八月中統計

仁川水產株式會社八月中水揚高は鯛六千五百圓鮃百八十七圓目張四百四十圓ニベ一千三百七十圓鱸一千百五圓鱣千八百二十圓鱧二百二十圓鰯百五十七圓鰤百十圓石首魚六十五圓煎子七百十五圓其他雜魚合計一萬三千四百五圓にして重なる單價を擧ぐれば平均直段十貫鯛十三圓鮃七圓五十錢目張八圓ニベ五圓五十錢鱣五圓五十錢海老十八圓海鰻十三圓にして八月中仁川港を中心として近海の漁業に從事せる漁船は約二百隻にして八月は例年暴風多き時期なり爲に本月も四五日間繼續の暴風雨二回迄通過し爲に漁業に於て大打擊を受けたるも比較的纏漁の豐漁なりしを以て暴風不漁の時期なりしに拘はらず昨年に比し金額に於て二千餘圓數量に於て四千九百餘貫の增加をなしたり而して仁川近海の漁期は最早例年閑散に向ふ時期なるも本年は初漁期に於て遲れたるを以て九月に於ける漁業の成績は意外に好況を得るに至るも計り難し八月中漁船入港度數及び水揚金額は左の如し

日船八百三十二隻にて一萬一千二百四十四圓鮮船二百六隻にて一千九百六十三圓にして消費先は京城龍山地方五割仁川二割其の他方面三割なりしと

●李堈公兩寺視察

李堈公殿下は慶尚南道梁山郡通度寺及び陜川郡海印寺視察の爲黑崎事務官を隨へ八日出發十七日歸京の豫定なり

●仁川客月市況

米價久敷軟弱の裡に持合悲淸道外改良米は月初九圓五十錢見當なりしも內地作柄の蟲害等にて稍悲觀さるゝや期米は奔騰を見しが當地期米も稍引締り且又地方よりの廻著は益々減少の姿を呈したるを以て賣手は先高を見越して賣措む抔依然强硬の態度なれば氣配益々良好にして中旬は十圓十錢迄引返せしも內地は天候の好順に期米は不勢にて當地期正米も幾分氣配惡しく十圓見當にて越月せり米界の大厄日も月前に迫りたるを以て此處暫時成行は注目に價す月末玄米在庫高は五萬三千五百七十叺に減少せり大豆は愈々端境期の事とて廻著見るべきなく又相場も殆んど持合の姿なり他方輸移入品側を見るに愈々夏枯閑散時期のことゝて例年通り市況一般不振なるに本年は米價安の爲め一層甚しく一般貨物の賣行面白からざるも朝鮮商盆も目前に迫り又漸次夏衣期も過つゝあるを以て絹糸金巾等の輸移入增加し從て賣行も稍良好なる外一般貨物が減退し市況は閑散を極めたり

人事消息

▲高橋昌二氏(京都帝大助敎授) 七日朝入京朝鮮ホテルへ
▲エー、ウー、夫人(スペイン人) 六日同上

時事評林

對晩風 龍山 隱士

共進會場宮苑中。瓦光水色瑤西東。廿年日月眞如夢。楊柳蕭疎對晩風。

始政五年記念 朝鮮物產共進會

▲總督內覽 六日共進會場を內覽したる寺內總督は開期切迫せるを以て共後の狀況を巡覽す可く九日復び共進會場に赴き內外事務の進行狀況を視察す可しと

▲美術館の陳列 美術館は內外の施飾完く成りたるを以て七日より陳列品の取付けに著手したり九日までには主要部分を了へ十一日までには全部の陳列を濟ます豫定なるも美術品製作所への出品物は十四五日頃ならでは竣成の運びに至らざる可しと

▲參考館出品物 參考館に出陳す可き臺灣總督府よりの送附の貨物は七日共進會に到達し同府より出張せる係員立會の下に直ちに荷捌に著手せるが梱數十五個にて四百餘點なりと又た愛媛縣より送附の出陳物七個七百餘點も七日到達したれば八日荷捌の上直ちに陳列に著手す可く之れにて同館は大體の陳列を了る筈なり

▲氣象觀測掲示 京城測候所にては共進會會場內慶會樓前の一家屋に氣象觀測に要する一切の機械を陳列し尚ほ毎日の天候を一定の箇所に掲示し信號旗をも掲揚すべしと

▲高塔工事落成 探照燈の試驗點火 京城協贊會に於て工事中なりし百三十尺の高塔は七日全部落成し直ちに探照燈の取付に著手したるが當夜迄に取付を終り試驗點火を行ふ筈なれば一萬二千燭光の燭力を有する二箇の探照燈によりて京城市中は爲に晝臺の如き光景を呈するに至るべし尚ほ漢陽公園の探照燈も五日夜の試驗點火後更に兩三日後より每夜點火すべしと

▲場內郵便事務 共進會場郵便局は工事落成し目下各種の設備中なるが開會の上は午前八時より午後十時迄執務爲替貯金を除くの外全部の郵便電信電話の事務を取扱ひ場內へは毎日十回の配達を爲す筈にて記念スタンプを押捺すと

▲素人角力館 夜間開場の協贊會場內高塔の橫手に素人角力館を建築することゝなり目下工事中なるが開館の上は飛入勝手次第なりと云へば好評を博すに至するなるべし

▲更正豫算內容 仁川協贊會にては六日午後八時より商業會議所樓上に常議員會を開き十三名の出席者あり更正豫算の增加三千八百圓は府の補助及び寄附金を以て之を補ふ事となりたり

▲協贊會の餘興 仁川協贊會にては七日午後二時より水族館樓上に於て餘興に關する件協議す

▲水族館と保險 仁川水族館はニュージーランド保險會社と五千圓の保險契約を爲したり

移轉並に出張店設置

弊店兼て岡崎町製材所內に新築中の處落成に付本月五日移轉仕り候尚業務擴張の爲め京城黄金町三丁目に木材販賣出張店を設置致候間多小に拘はらず御買の程奉希候

本店 京城岡崎町九十七番地 材木商 (シ)清水繁太郎 龍山電話五三番

出張店 京城黄金町三丁目 (シ)清水製材所出張店 京城電話四一四番

移轉廣告

弊商會は從來太平通一丁目十六番地に營業罷在候處今般工場並に營業部擴張の爲め左記へ移轉仕候に付廣告仕候也

京城太平通二丁目五番地(京城日報社前) 廣江商會

營業部用電話五七六番
同 二七〇番
第一工場用電話二八七番
第二分工場用電話二三六番
市內總販賣部電話五二二番
主人專用電話五四一番
支配人專用電話二〇二番
振替京城一七〇 略ヒ又(ヒロ)

京染 取次 縮緬 物 白生地 販賣 京都 たまや出張店

共進會と自動車

通常乘車賃表

四人乘 一時間 金參圓
六人乘 一時間 金三圓五十錢
但し增時間は十分間五拾錢の割

基點往復時間(御參考)
□京龍御回覽 約二時間 □南大門停車場 十分
□清涼里御陵 五十分 □日の出町學校 十分
□動植物園 二十分 □蠶島 一時間
□龍山停車場 三十分 (基點は店)

特に共進會並に家庭博覽會行き御乘客の御便利を計り三十分間以內は(四人乘壹圓五十錢 六人乘貳圓)にて御注文に應じ申べく御電話次第直ちに廻車御迎申上べく候

黄金町一丁目 京城自働車商會 (電話一〇二九番)

東西南北

▲椿事「娘の取合」 香川縣綾歌郡[illegible]い女が盲目按摩の妻で一生を朽ち果てしたるが手懸り無きより警方泣く々々其筋へ保護方を願ひ出で居たる處[illegible]困難ならんと親心の又蔵夫婦は春に[illegible]つて居られず相方手論の結果其筋に[illegible]の中の女は納まり方無きヤスの娘の卜[illegible]

▲抹香鯨六十餘噸が不意に船を包圍して[illegible]たその所親には作りなかつな[illegible]

▲四五日前の夜中窓の外に當りて[illegible]

▲三足の鷄生れ珍鷄として近隣の大評判なるが生後發育良好にて其歩行振[illegible]

に來り泰公口を漁る内盲目按摩の芳太郎といふ海乳繰合ひ芳太郎の攫み取りて儲けて來た金で其日を送つて居たが壺坂のお里であるまいし若芳太郎はアンマリ杖ない腑甲斐な此の目が明いたらと眼球を剝いて歎き悲しんだ揚句小はるの里方に赴き涙交りの物語りに又藏夫婦は打驚き捜査せる女が金刀比羅宮境内御辻裏の樹より轉落ちて面部腰部咽喉部等に負傷して居たるを發見せりとの事に大に驚き腰部に負傷して居ては歩行も……と云へるが通り掛りの此の中の女を一目見るなり突如奈の女に獅嚙付き女を引出さんとするので又藏夫婦も默……帶し居る事とて流石の發育もどちらが何やらさつぱり判らず大いに手古摺つて居ると何が結局……洋捕鯨會社京關事務所の捕鯨船第二東郷丸が先月廿三日に惠山神の漁場に出掛ける途中……游泳中であつた……所へ往て見たが其の時には最う影も形も見え無かつた▲頃夜中の怪音……大阪宮崎町汀中の吉田某方に……は入心俤なたりと▲三本足の珍鷄……も更らに原因判明せず……

哀し矣秋風靈柩に咽ぶ
日比谷原頭故井上侯の葬儀

國家の元勳從一位大勳位侯爵井上馨氏の葬儀は七日午前八時内田山の自邸を出棺し日比谷公園に於て擧行せられたり自邸より日比谷公園までは沿道兩側人を以つて滿され午前八時五十分著棺靈柩は祭場の壇上に安置せられ大導師京都南禪寺管長河野霧湖禪師副導師金地院及び春洞院兩住職衆僧を率て莊嚴なる讀經を行ひ引導式ありて終つて天皇陛下勅使、皇后陛下御使、東宮殿下御使の御代拜を奉仕し次で皇族各殿下には事務官又は御附武官をして御代拜せしめられ終つて喪主、親戚、近親の拜禮、引續き會葬者の拜禮燒香あり儀仗兵指揮官小池近衛步兵第二旅團長の號令に依り儀仗兵の弔銃發射式等あり十時儀式を終り其より日比谷公園出棺麻布笄町長谷寺墓地に向ひ午後一時著埋棺式を終れり當日會葬者の重なるものは元老内閣諸大臣及び陸海軍武官政治家實業家等にて總ての階級を網羅し長谷寺内は人を以つて滿され頗る雜沓を極めたり尚ほ野砲兵一中隊は櫻田門外に砲列を敷き會葬者の拜禮燒香中十九發の弔砲を發せり當日山縣公は早朝内田山井上邸に參向侯の靈柩に鄭重なる禮拜を爲し武子夫人に懇ろなる弔辭を述べ尚ほ葬列に從ひ途中まで徒步にて送りたり(東京特電)

秋空に榮たり高塔二百尺
綺羅を盡せし鐵道特設館

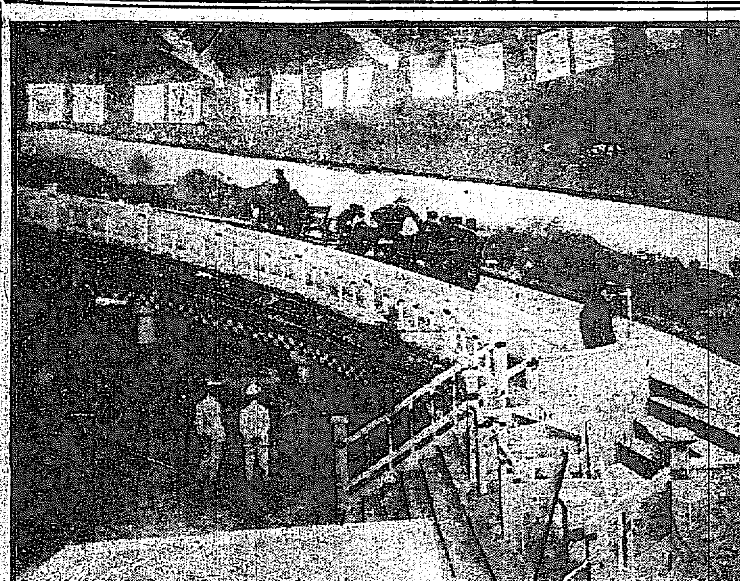
セセッション、ルネサンスの諸建築が純朝鮮式の景福宮を中心として朝暉に輝き夕陽に照り榮えてゐる共進會場中殊に人目を惹く純埃及式の建物は鐵道特設館である——電車を捨てゝ左右に角張つた春日燈籠の立て列ねられた通を光化門に向へば其古色蒼然とした純朝鮮式の樓門の左手にクリーム色の高塔が秋晴の空に沖して聳えてゐる共進會場中最高の建物で地上百六十餘尺の塔の外側には流れ漲きせぬナイル河畔

▲四千年前の文華を物語る象形文字が一面に描き出されてゐる——光化門(共進會場正門)を入つて直に右折した處に其建物が建られてゐるのだが全部圓形に設計せられ其上に三尖の高塔が聳立つてる總建坪二百四十餘坪、三階建の二階は五分の一の勾配で建物の内壁に沿うて登る登り道は步道とケーブルカーの線路とになり三階へは普通階段數階のみ——先づスフインクスを摸した純白色の巨獅兩頭に依つて護られた出入口を入ると内部亦埃及式の圖案で彩られた圓柱が立ち連り壁に沿うて右側に湖南線、左側に龍山を中心として京元、京仁兩線の模型、其

▲名勝舊蹟の油繪

後方の壁面には各鐵道沿線のパノラマ式に刷り連ねられて在る其中部右側には東京から倫敦迄の大模型が据付けられて客を呼ぶ左方同じ位置には鴨綠江開閉橋の大模型が可愛らしく出來上り側に橋梁脚柱建設用ニユーマチツクケーソンの模型が備へられてる其側には隧道掘鑿模型があり其の他明治四十三年(朝鮮併合の年)以降昨年度迄五年間の成績を車輛(客車、貨車、機關車)數は客車輛の模型で、乘客人員數は博多人形で貨物噸數は擔軍の人形で、營業哩數はシグナルで投資額は金庫で、各驛成績は

▲驛名札で表象した模型が陳列せられてある二階と云つて上り口は三四尺の處を段にして其側にケーブルカーチツケツト發賣所がある步道は右へケーブルカーは左側へ分れ一臺二人宛十人一列になつて合圖の電鈴で動き出す其壁面亦階下と同樣京城を中心として登りが京義線、降りが京釜線の線路沿線模型に沿ひ各沿線の名勝舊蹟油繪が掛け連ねられてる五錢で二階に上ると其外周が遊步道となつてゐる三階は中央部に事務室があり四周亦約三百坪に近い廣場が廻廊式になつて七彩のモールで飾られた埃及式圓柱の傍には植木鉢が置かれたりしてあるベンチに掛けて眺めると共進會場全體が眼下に白く緑に展開し北漢山の雄姿が其後方に突兀として聳え秋の空は何處迄も澄み渡る



鐵道舘第一の呼物＝ケーブルカー＝

米が廉い
一等米が十三錢

昨年以來安値つゞきの米價は今春一等白米一升十一錢五厘の底價を示してから以來相變らず安く過般十四錢から五厘さげて十三錢五厘を示して居たところ七日また〳〵五厘下げの十三錢となつた。京城の如き米の消費地に居る人は此の低落は何よりも難有い譯で米が十錢すりや唐米九錢コリヤ〳〵の萬歲ものだが一方南朝鮮の米作地方では『何うも愁う安くては遣り切れぬ……』と苦い顏、米の方でも兩方都合好い事はないものだ……など言ふか知れぬが兎に角昨今米は安い、抑も米價低落の原因は……など改まる迄もなく愁歴に米の安い譯合は第一内地の米作豫想が今年は平年作より約七百萬石以上の增收見込であることゝ從つて朝鮮でも所有主が大に弱氣となつて投げ出す者が多いからであると觀測されるが併しまた二百廿日の厄日も控へて居るし京城では又共進會を見込んで思惑を立てゝ居る者もあるから此の上安くもならぬかと思はれるが兎に角昨今一等白米で十三錢の相場とは大に安いと言はねばならぬ

俘虜逃走
して朝鮮に渡らんとす
連絡船に乘込むところを捕縛さる

大阪天王寺に收容中の獨逸俘虜一等主計アルテルト(四二)は四日外出散步の儘逃走し市中の古著商にて

▲絣の單衣と鳥打帽を買ひて衣服を更め電車にて神戸に行き同市にて紺の法被を購ひ土方風に變裝し夫れより汽車にて下關に赴き門司に渡り五日午後九時同市の山田旅館に投じ其の夜は外出し六日

▲料理店に入り同夜連絡船にて渡鮮せんとし午後八時三十五分三木料理店の女中に送られ門司棧橋にいたりたるに解纜三分前憲兵巡査に取り押へられたり同人は天津に在る妻子に面會のためと語れりと

山海嘯
慶北に死者百九人

慶尙北道にては去月二十三四の兩日に於ける豪雨の爲め慶州、永川、迎日の各郡に亘りて山海嘯あり七日總督府に達せる報告に依れば慶州郡内最も慘狀を極め家屋の流失、崩壞九十七戸を算し死者百九名に達せり其他橋梁の流失、田畑の埋沒少からざる見込にて目下取調中なりと

女の薄情を恨みて鐵道往生

四日午後五時頃京城市外高陽郡漢芝面杏堂里往十里驛より西方約二十八鎖の箇所なる京元線内に轢死したる内地人あるを折柄線路巡視中の京元線保線助手山本友吉が發見し早速高陽警察署内往十里駐在所に急報したるより詰合ひの久本巡査即時現場に出張し山本助手立會ひの上屍體を檢視したる所身體は第一肋骨より上下眞二つに切斷され內臟露出し且つ兩腕共切斷され附近線路には肉片骨屑鮮血等散亂し目も當てられぬ無慘の最後を遂げ居る爲め人相等も判然せざりしが著衣は木綿紺絣の單衣に黑モスの大幅帶を〆めたりと尙遺留品としては鼠色夏用の鳥打帽子一個護謨裏雪駄一足及び白金巾のハンカチーフ一枚ありたるが其端に『京城大和町二ノ九六日尾野』と又一端には『偕生』と墨字にて記しありて線路側に該ハンカチーフを大地に擴げて風に吹き取られぬ樣四隅を小石を以て壓へありたりと而して同所に一通の遺書を認めたるものを原紙の袋に入れてありたるが該遺書の文意に依れば『朝鮮に渡り來つて幾分の金でも儲へ鄕里の親を喜ばせる考へなりしも酒色に溺れ社會に對して面目なく且つ新町松の家の美代子の色香に溺れ手の出し樣もなき迄借金嵩みて思ふ樣にならざる破目に陷つた所女は薄情になつて終つた今は全く女に欺かれて世間に顏出しが出來ないから轢死して果てる云々』との事を片假名にて愚綴りに書きありしと依て同人は全く覺悟の轢死を遂げしものなるが洋手拭に記入の氏名に依て取調べの結果同人は原籍愛知縣西加茂郡猿投村當時京城大和町二丁目九十六番戸小出彌吉方同居遞信局傭人日尾野幸太郎(二七)なること判明したるが同人は獨身者にて僅か許りの日給にて電信工夫をなしゐる程の身なるに遊廓へ足繁く通ひたる爲め切詰つて右の如き悲慘の最期を遂ぐるに至れるものなる由なるが屍體は同居者小出に於て引取りたるが日尾野の轢死したるは四日午後四時十六分龍山驛發福溪驛に向ふ列車の進行中前記の地點に於て一人の男が線路内に居るを進行中の機關手林巳之助が認めて警笛を鳴らしたるより同人は鋭く線路外に飛び離れたる瞬間僅か三四間進行したる列車を目覓けて又一人の別男線路内に躍り込たるものあり日尾野がそれならん

市街がすつかり清潔になつた
十五里の溝渠を浚渫した＝六百箇所の井戸＝健康診斷＝蠅退治＝精神病者の取締＝狂犬の撲殺＝便所の新設＝松井警務部長談

共進會開催以前の衛生事業として大小の溝渠の浚渫をなしたが倂も一邊の浚渫であつた此の浚渫に使役した人夫延人員……最も有益であつたのは……數は實に尠からざるもので一日に馬車

□四十臺を十日間も繼續して從業し其の浚渫下水の延長は三萬三千百七十四間の長さに亘り即ち約十五里餘となる計算である井戸の掘鑿が十四箇所共同便所の新設箇所が九箇所で是は目下掘穿建築しつゝあり試みに浚渫の成績を調査して見ると管内戸數の一戸當り三錢となり器具や其の他を見込んでも僅か六錢にしか當つてゐない夫れから七月七日から二十日迄臨時に井水の檢査をやつたが其總數五百六十箇所内飲料水として適當なるもの百九十箇所次いで内鮮人理髮者女髮結ひの健康診斷を施行したるが鮮人理髮業者が九十七内地人營業者が十六人内地人女髮結が六名又宿屋

□下宿屋に就ては殊に旅客が多數入り込むで來るから其衛生上の設備の設置方に取締りを勵行し牛馬車宿は一般不潔であつたから其厩舍などを改造させるやう厩舍の附近に小溝を開けさせるやう腐蝕してゐる材料を取り替へさせるなどして蠅の發生を防遏し獸肉販賣業者には肉の容器や運搬用の單鎖を改善させ飲食店には其の設備や不衛生の所を取締り實施したものが鮮人飯食店三百六十六軒内地人飲食店が五十四月又料理屋も同樣施設を命じ蝸市の檢徵も一週一度宛であつたものを共進會期中は四日に一回宛位やらせる豫定である次は管内の精神病者で現在男二十九名と女八名との患者があるが全部朝鮮人で内一名の男は頗る狂暴で目下嚴重監置せしめてある其の他輕症の分は親權者や

□保護者に於て充分監視せしむる樣取締り狂犬の發生を防ぐ爲め最近管内で撲殺した野犬は六十九頭程あつた尙傳染病豫防の一策として鮮人間に於て、より有害な井水を飲料に供してゐたものを水道の給水使用を勵行せしめたものが二百七十三戸而して共同栓附近が破損してゐるものや不潔であるものを改築させた箇所が二百八箇所で臨時に井戸の水替へ浚渫をやらせたものが八十一箇所夫れから清涼飲料水や果物或は其の他の飲食物を營業して居るもの中に沈澱物の多量で有害と認むるものや果物の腐蝕してゐるもの等を棄てさせたものは優に一萬點以上に達してゐる又鮮人中には塵芥を家の附近に堆積する者が多いので其容器を新製させたものが九百十一軒修繕を加へて使用させつゝあるものが一千九百六十二軒あつた次は

□鮮人の便所で僅かに名のみの申譯的に狹小なものを拵へてあるものは其人數に應ずる丈のものを設備させたが其新設戸數が百八十二修繕したものが九百三十九戸ある又糞尿の汲取口を修理させたものが六百六十九戸であつた尙過般七月二十三四日に洪水の爲め其後掃除として臨時に部内の大淸潔法を實施したが其戸數が内地人一千三百四十七戸朝鮮人二萬二千四百戸外國人百五十六戸であつた尙其際破損してゐた道路を修繕したものが延長八百三十七間橋梁の修築を加へたものが二十三箇所夫れから

●料理屋大會の土產物　料理業者は流石に共道に明るい連中が多數集まる事とて趣向を凝らした末此程決まつた大會の日仁川に行くさきは如何な派手な揃ひの日傘を翳して堂々と乘込んでゆく寫眞の左の方は宴會の土產の折、中央が記念徽章、右の方高麗燒の菓子皿で何れも中々凝つたものである

□共進會の開會と共に最も關係が深い人力車の車體檢査を行ひ修理すべきは修繕せしめて使用することにし朝鮮人車夫の服裝を内地人同樣に一定せしめたが人力車數は五百八十一輛で馬車の檢査を行つたものが十五臺さ牛車が九輛さであつた管内の宿屋料理店下宿屋三百十一軒に對しては各戸に就き設備及び衛生上から檢して改修させ今日迄出願した臨時宿屋十一軒に對しても同樣實查して許可した其他尙目下衛生實施中の事項も頗る多大であるが何れ又機を見て申すことゝしよう

蒙天覽　よろづやたび

金剛山より
探勝一旅客の感想

竊くに堪へたり金剛山探勝の設備の完成せるに吾々は、世界の一大偉觀たる金剛山の絕勝を探らんとの宿志を抱きしも不幸にして終に其機會を得ざりしが偶々今回閑を得て同志と共に之を決行せんと思ひつき先遊の士に就き之を聞くに溫井里溫泉場に於ける完全なる旅館と頃日開始されたる官營の鐵道ホテルの外には殆んど宿屋らしき所なかるべしとのことなりしを以て途中にて困らぬ準備を整へ來りしも既に長箭に上陸すれば溫井里に至る二里の間には自動車の通ふあり內金剛なり海金剛なり新金剛なり順を追て探勝を試みしに到る處適當の地點に於て完全なる宿屋の設備整然として開始せらるゝと同時に道路の如きも山々の嶮に通ぜしむるに至り大道直々四通に達し深山幽谷は勿論斷崖絕壁の險と雖も或は鐵鎖を施し或は棧橋を架し以て通行の利便を圖り一として豫想外なる設備完成し西洋婦人の如きは總て登山せるありゴルトン婦人の如き老齡をも顧みず殆んど金剛山を去るに忍びずと稱し今尙溫井里に滯在し京城木村氏令嬢の如きも既に此の壯擧を試みらるゝに至れり吾人同行の輩の如きは恰かも案山子然として進退せし位なれば探勝者の利便頗る筆紙に盡し難し請ふ同志の士あらば宜しく速かに此の壯擧を試む可し(於金剛山中佛生)

芝居と遊藝

▲別れ別れ　風規取締の爲めさあて此頃市内の活動寫眞館は何れも男女の座席が劃然と區別された、各館共平場の中央に太い麻繩が引つ張られ右は男、左は女、二階も同樣に分けてある、新婚の夫婦らしいのが何も知らずに寄り添つて男子席で見て居ると案内女が『規則ですから奧樣は彼方へ』と引分ける中にも慘めなのは子供連で父親の方に殘つた兒が『母ちやん行つては厭だ』とベソをかく、と云ふ梅之れぢやあ堪らないと逃げ出す者があるさうだヤアレヤレ

▲黃金館差替　八日より寫眞全部を左の如く差替る筈なるが其內新派悲劇『妻の秘密』は全三卷にて現代の社會を描けるもの菊池幽芳氏の作なり　△實寫カプリーの景△運轉手の奇智△軍事劇『戰友』△泰西人情劇『白馬』新派悲劇『妻の秘密』

▲御成座增員　御成座にては共進會を機とし從來の日野萬兵衛一派に青年俳優數名を加へ十日より開演する由

▲浪花節　浪花節花川國玉一行にて七日夜より開演せり

京日案内

●番外(一回前金六十錢(無割引)匿名一回毎に金五十錢增)

女子集金係及男女外交員募集す　希望者は履歴書携帶午前中來店　京城大平通二丁目三二六番地　株式會社商業銀行朝鮮債券部　486

共進會門鑑寫眞　定價廿錢　迅速調製　會場に最近き　菊田寫眞舘　武橋町(京城日報より北へ二丁餘り)　487

募集　勸誘事務に經驗ある熱心なる外交社員(年齢卅歲位)二名入用俸給及手當支給す希望者は履歴書携帶午前中來談あれ　京城黃金町一丁目六〇番　西村　488

共進會出入門鑑寫眞　無料　御指定撮影迅速調製金卅錢　京城寫眞舘　南大門本舘　永樂町分舘　489

東京割烹修業　●雇はれたし　日本儀式及家庭料理支那西洋料理和洋菓子折物ムキ物專門學校　若草町電話二二六三番へ御問合を乞ふ　481

◎開業　齒科醫士滿田操　京城櫻井町二大正舘横　滿田齒科醫院　482

店員募集　十九歲より廿二歲迄入用　市内に確實の保證人を有す午後來談　●永樂町二丁目　圖書出版　電話一〇七一　斯道舘　483

▲諸流謠曲本　並に附屬品　京城南山町三丁目　中川靜松堂　484

賣地　京城南大門通商家屋の敷地凡そ廿九坪望の御方は黃金町壹丁目電話一〇一五　喜多金光堂へ御來談を乞ふ　447

古本は野村に限る　買入誠實御報參上(電二六三六番)　京城本町一丁目　明治町下る　野村書店　457

◎貸家下宿病院向　數棟全部又は一棟宛此際極めて安く貸す希望者は至急來談を乞ふ　京城吉野町中の新地貸家差配中村　441

マラリヤ特効藥　金鷄丸　各藥店にあり　定價三十錢　發賣所京城旭町一ノ二三淺野藥天堂　440

恩給年金類立替　京城御成町　電話二七七番　山口屋　426

共進會出入門鑑　出品者に急告出品者は御指定相成候寫眞携帶の事　定價卅錢迅速撮影調製　本町二丁目　電一九二八　金田寫眞舘　479

▲乳母至急入用　右望みの者は京城大和町二丁目十六番地　辰市本丸方へ申越しあれ　476

●少年店員一名採用　高等小學卒業後間なき少年但し保證人を要す　●娘給仕一名採用十五歲以上廿歲迄容貌醜からざる者但保證人を要す　京城太平通二の五　廣江商會營業部　470

福島屋移轉　共進會に伴ひ從來の場所狹隘の爲め左記へ移轉客室淸潔に營業仕候　北米倉町一四　電話三三三三　福島屋　463

看護婦及看護婦見習生募集　希望者本人直接來談ありたし　仁川病院　467

恩給年金類立替　京城武橋町三十三番地　京城日報社北右に入　電話二二八三番　國江商會　425

●普通(一回前金三十錢(無割引)匿名一回毎に金五錢增)

●美顏劑△忘ふん入洗ぬか賣出し　披露の爲一合一錢五厘　明治町一丁目標本劑製小島商　牧野　480

●有給外交社員數名採用希望者履歴書携來談　京城本町四丁目一參　武蓬萊生命保險相互會社京城出張所　485

●資金百五十圓　共進會開期中に取戾得る有利事業歸國の爲至急讓る　京城本町二丁目競賣所前柏屋商店　469

●礦物各種分析　京城太平町二丁目三四四番地　▲坂本分所拆▼　472

●店員募集　年齡十六歲以上廿歲迄二名入用希望者本人來談△確實の保證人を要す　京城本町二　大正たび　473

●女子數名募集　共進會開催中年齡廿歲前後市内に保證人を要す　京城本町二丁目京城競賣株式會社　458

●コロタイプ見習生募集　十五六歲から二十歲迄の者希望者本人來談あれ　京城日報前岩田コロタイプ製版所　466

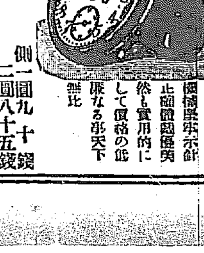
●一小割石(一切賀外)參百九拾立坪　右購買ス詳細ハ九月七日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ　朝鮮總督府

新刊書御案内

書名	著者	定價
發電所及原動機	鈴木	一、六〇
發電機械及器具	多	一、五〇
至誠と努力	蓮沼門三	一、二〇
通俗常識訓話	安藤愛山	一、三〇
向上清話	海老名彈正	一、〇〇
理想の家庭	國民新聞社	一、五〇
自殺者の手記	長田幹彥	一、六〇
和歌作法集	佐々木信綱	一、三〇
非人逃話紀行集	鹽谷、佐々	一、三〇
柳浪傑作集	廣津柳浪	一、二〇
千山萬水旅からの手紙	桑田春風	八五
印度宗教實見記	長谷部隆諦	一、二〇
腦の衞生	松田十次郎	四〇
歐洲戰と我經濟	岡本巳之松	四〇
露西亞の戰線より	大庭柯公	九〇
吾輩の心身頑張法	黑田湖山	八五
最近の支那と滿鮮	板本正幸	一、二〇
色染法精練漂白篇	西田	三、七〇
奧樣とお女中	齋藤恒子	六〇

大阪屋號書店

新荷著アンクル式片側懷中時計　京城本町電話二八六番振替京城二五七三番



機械堅牢示針正確優美終も實用的にして價格の低廉なる事天下無比

形	種類	價格
十九形	鐵側	一圓九十錢
十六形	同	二圓八十五錢
十一形	同腕時計鎖付	五圓二十錢
十六形	ニツケル側	二圓六十錢
十三平形	同	二圓九十錢
十九形	同(機械表示)	三圓九十錢
十六形	同	八圓五十錢
十九形	同	十五圓
十八形	銀鍍金(調刻蓋)	二圓十錢
十六形	金鍍金調刻兩蓋	四圓二十錢
同	銀側	八圓五十錢
十九形	同	十六圓八十錢
十七形	同(銀七寶)	廿六圓五十錢
十一形	同(腕時計)	十三圓八十錢
十九形	金バリ(十年保險)	十八圓
十八形	同	二十一圓五十錢
同	同	廿一圓
十六形	十八金	百五十五圓
十九形	同	百二十五圓

右は今回新著の商品にて本商會獨り之れを有し他店に無き所のもの伏して願はくば急遞御用命仰度候尙地方諸賢の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候　追て其他理想的懷中時計及び目覺時計數種取揃居り候

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國貨直輸入商　イングレッシー商會　本店　京城本町二丁目電話九七二番

瓢の旗風（545）

番衆浪人

筒井年峰 畫

詭策（十二）

瀧川方の忍びの者、岡部常藏は、夜に入つて長濱の、城の彼方此方、面を掩ひながら窺つた。すると彼方にもまた一人、これも怪しの打扮で窺ひ寄るものがある。常藏は、密と飛退いて、引返さうとすると。

『待て！』

『ヤツ。』驚きさまに腰なる一刀の柄に手をかけた。

『怪しいものでは御坐らぬ……』

『そ、さう云ふ聲は、岡崎の岡部殿かつ。』

『ヒエ、御身は……』

『密かに……』とツカ〳〵と寄つて『越州の不破彥三ぢや！』

『ナニ、不破殿御坐るか。』と此方はホツと一息して。

『柴田殿御內にて、一廉の御身が、其忍び姿で、此長濱城を窺はるゝは扠て不思議ナ。』

『我等もぢやが、御身も怪しいナ。』と不破彥三も眉を顰めて。

『瀧川殿、此長濱を疑はるゝか。』

『疑ふとは御座らぬが、當長濱は、大切の場所、それ故、萬一を氣遣うて、我等斯ら隱密の役目と御座る。ぢやが、當長濱と、北の庄殿とは、兎角は、御親子、殊に、御後嗣ともあるに、さて、御身が其態は……』

『さ、一應は、左樣御座るが……』と彥三は聲を低めて。

『何がさて、御親子の御館ではあるが、油斷のならぬはあの羽柴筑前、どうやら當城へ密使を送つたと云ふ噂がある。』

『何と云はしやる？』

『さあ、穩かならぬ世の中の流言蜚語ともあらうが、これ、眞實とあらば由々しき大事と我等密かに……』

『如何樣、大事……』と常藏は眼を瞬つて。

『なれど、彼方此方を斯く窺ひは申すも、別にさしたる異狀も御座らぬが……』

『何はしかれ、宿元へ歸つて、篤と談合の申さう。』

『委細承知……』と默頭き合つて、二人は打連れいづれへか去つた。此二人の立話しを其初めから背後の木立に隱れて、息を殺して立聞いてゐた一人の武士があつた。二人が後影の、見えず爲るまで見送りながらツカ〳〵と三足、五足。

『さつても大事ぢや、こりや一思案せざなるまいて……』と呟く樣に云つて、やがて、長濱城の櫓門から入つた。

彼は實に、柴田伊賀守の家老木下半左衛門であつた。

『夜中ながら木下半左衛門、御目通りを願ひたう存じまする。』と密かに云ひ入れた。

やがて、勝豐の寢處へ通された。

『殿！』と云ひつゝ半左衛門は敷居の外から。

『夜中恐れ入つて御坐いまするが、殿には疾う、御覺期をあらせいでは爲りませぬぞ！』

『半左！何と云ふ……』先日から、聊か所勞の勝豐、まだ年若と云ひ、癇高の性質とて、直ぐと眉はピリ、と動く。

『殿は今、危き淵に立たせられる一期の大事、御覺悟が大切で御座る。』

『疾う〳〵其仔細……』

『大殿も、瀧川殿も、殿を疑ひ、間者を入れられて御座る……』

『エ、、何とッ』と勝豐は猛り立つた。

旅より

光州 草路

Mよ、私は八時四十分に京城を去つた。そしてレールの鳴る車輪のかたんかたんに、その鳴る一秒音の刻々に京城は遠くなるのが、本當にかなしかつた。ステーションへ來て呉れたのはN、S、K、R、Oの五人、あの雨降りの最中をよく送りに來て呉れたと僕は悅しかつた、若しか誰も來て呉れないのであつたら私は泣いたかも知れなかつた。かなしい運命の子の旅心を――誰か知らう。怖ろしい運命の神樣、あなたのまゝに私は從つてゆきます。

Mよ、期してはゐなかつたけれども、切めてあの踏切でゞもよかつた、見送つて欲しかつた。若しかしたら――斯う思つたのも矢張り失望であつた。と云つて恨むのではない。ただ思つたので、氣にしては不可ない。

Kは龍山まで送つて呉れた。ひとりになつて作つた歌、お前の病床に送る。讀めないかも知れないが、そうだつたら癒つてからでも御覽、兎に角送つて置く。

――大田より――

□南大門驛にて

このまゝに逢ふことも得でしのびかに旅ゆく身はもかなしき身はも

しめやかに小雨は止まず京城をいま去るなれと仰ぐ大空

大空は重く曇れりひんやりと旅の心に泌むつめたき風

また逢はむ日もがな葉月かなしかるさだめに今ぞ吾は旅にゆく

□汽車は動きぬ

友らの姿だん〳〵小さくなりてゆく友よと呼べど出ぬ聲かなし

薄暗きプラットホームに浮きてゐし友の姿も消えてしまひぬ

友見えずなりぬわが汽車わが心かたんかたんとかなしくなりぬ

□龍山にて宮に別る

すこやかなれくに雄はいひぬかなしかる運命の子にすこやかなれと

かにかくにさだめかなしき子なるゆえ身のすこやかさ守りてあらむ

なにごともさだめぞなどとくちぐせによく云ひし子をくに雄忘るな

□車中ただ京城を思ふ

君思ふこゝはいづこぞくろぐろと大山脈は眼にせまり來る

くろぐろと大山脈はせまりくるわがかなしみにうちよせてくる

いまははやせむすべもなしけにつよくげにはるけくも別れ來しかな

京城の空ははるけし山間の小驛ダアリヤ眞赤にかなし

ぼんやりと汽車を見送る男あり汽車の窓には泣く男あり

新刊と批評（批評希望者は二部御送本のこと）

▲演藝畫報（九月號）表紙繪の菊畑淸忠卷頭彩色畫の不動同發も新三家主長兵衛秦仙を初め三色版寫コロタイプ版オフセツト版等美々しく歌舞伎は勿論新舊兩派の別なく大阪京都信州北海道其他各地の演藝に關する狀況を網羅し文欄には稚子姿一休禪師（松葉）八幡の狂女『長範』の外讀むべきもの多し（金卅五錢東京市京橋區南佐柄木町七演藝俱樂部社）

▲廿世記（九月號）定期倍號である卷頭の大隈伯論、山縣有朋論を初めとして田中王堂の不徹底の一徵候平井金三の天孫人種はアリ族也來るべき黃白二種人の大戰爭其他科學に主きを説ける議論の日米及海外殖民地に關する記事皆活氣あり（本號特價五十錢東京市京橋區新肴町廿世記社）

▲兒童研究（一九の二）眞面目に兒童研究を爲さんとする好個の雜誌なり幼稚園（富士川博士）風致の危期（高島平三郎）其他子供の爲よむべきもの多し（一部金十六錢東京市本郷區西片町一〇兒童研究發行所）

▲日本婦人（九月號）日本婦人の將來（井上博士）女子敎育に就て（小森博士）女子の再婚問題（鳩山春子、柳楢駒子、岡田博士）其他讀むべきもの澤山あり（定價金廿錢東京小石川區東青柳町廿九番地日本婦人社）

▲煙炭（九月號）百姓雜誌と銘打つてある丈けに農事に關した事ばかり以て埋まる（金七錢五厘東京小石川區餌差町三四大日本煙炭社）

▲日本警察新聞（三四二）一部金五錢東京芝區愛宕町二の一四其社

▲學校敎育（二十二號）東京日本橋區本石町寶文館（一部拾五錢）

▲抵抗養生（九）近頃流行の抵抗養生法の機關雜誌なり（一部金十錢東京市麴町永田町二の六五仙學會）

▲朝鮮醫學會雜誌（一四）非賣品京城朝鮮總督府醫院構內朝鮮醫學會

▲戰友（九月號）一部七錢東京麴町區飯田町二の五二帝國在鄕軍人本部

▲ローマ字（一〇九）一部金十二錢東京市麴町區有樂町一の三ローマ字ひろめ會

▲政治及社會（一の六）改造內閣の運命（長島隆二）を初め現政府反對傾向の記事多し（一部金十錢東京府千駄ヶ谷町穩田三〇民聲社）

▲商業講義商業科（七號）一箇月分四十錢半年分二圓廿五錢一年分四圓四十錢東京市神田區錦町三の九國民實科大學院

▲現代俳風（一の三）一部金八錢東京小石區音羽町九丁目俳風會

▲ジャパンタイムス寫生號（九月一日）金十錢東京市麴町區內幸町一の四其出版所

▲大阪朝鮮資易商報（一三二）一部金五錢大阪市西區北堀江裏通一の四其社

▲海紅（九月號）新俳句新傾向派の中心機關雜誌俳話俳句畫寫也（東京下谷上根岸七四同社一部廿錢）

▲茶業界（九月號）一部金拾錢靜岡市追手町二二九の一一靜岡縣茶業組合聯合會議所茶業界發行部

▲富の研究（九月號）農商工業等富に關する研究に詳し（一部金拾錢東京市神田區旅籠町三の二其社）

▲月刊樂譜（四の九）一部金七錢東京市京橋區銀座四の四山野樂器店

▲商店雜誌（九月號）大商店のマーチヤーより行商人に到る迄必讀すべき商店雜誌なり（定價一部金拾錢東京市牛込區餘丁町五十五番地）

熟した椿の實の皮膜を去り、冷壓法を以て搾取したる毛髮の衞生に適し、色艶を麗しくする、純良なる椿油

○ミツワ椿油

定價
小壜入……金貳拾錢
中壜 五勺入……金參拾錢
大壜 壹合入……金五拾五錢
詰 入 五合入……金貳圓五拾錢

毛髮には何故椿油が宜いか？

と謂ふと、純正な椿油は不乾性油と云つて、流動の性質を失はず、滲込む力が強く、變敗する憂ひがなく、厭ふべき臭氣を發しないからである。

椿油にも不完全なものが多い

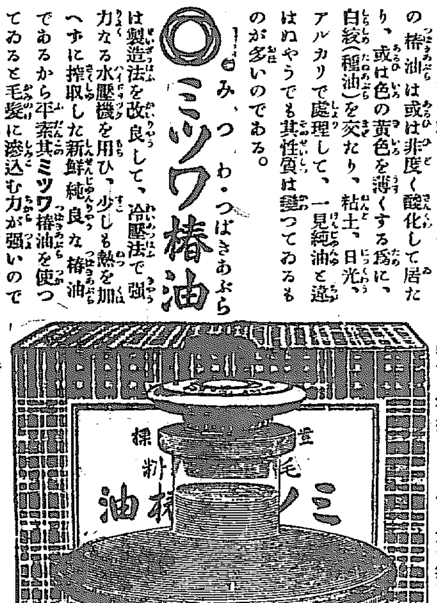
然し椿油と稱しても、完全に椿油の特色を發揮するものは先づ無いと云つて宜い位で、普通の椿油は或は非度く酸化して居たり、或は色の黃色を薄くする爲に、白絞（種油）を交たり、粘土、日光、アルカリで處理して、一見純油と違はぬやうでも其性質は變つてゐるものが多いのである。

○ミツワ椿油

は製造法を改良して、冷壓法で強力なる水壓機を用ひ、少しも熱を加へずに搾取した新鮮純良な椿油であるから平素其ミツワ椿油を使つてゐると毛髮に滲込む力が強いので

毛髮の發育を助け

且つ艶且つ色黑く艶を麗はしくし、毛髮と空氣と接觸することが少く、從つて空氣が毛髮に接觸した結果、漂白と云つて、毛髮の黑い色素が段々に減り、赤毛や白毛に早く成り易い憂を除き、凝つた臭氣を發することも無く、何時も艶々しい濡羽色で、裂毛、折毛などの憂は決してないのである

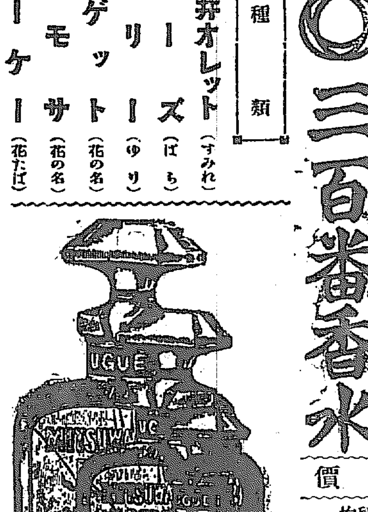


贅澤で、經濟で、而して最も優良な

○三百番香水

定價 各種均一
小壜入……金五拾錢
中壜入……金壹圓五拾錢
大壜入……金貳圓五拾錢

種類
ヴァ井オレット（すみれ）
ローズ（ばら）
リリー（ゆり）
ムゲット（花の名）
ミモサ（花の名）
ブーケー（花たば）



○三百番香水の特長

◎三百番香水は優雅な香で、長い時間香を保つて居ります。

◎香は人によりまして、嗜好を異にして居りますから、先づ三百番として六種の香を異にするのを發賣いたしました。更に追々種類を殖やさうと云ふ計畫であります。

◎香水は折角高價を拂つて求めても、その香が嗜好に合はない場合が多い。三百番香水は一壜毎に小壜の見本を添へてありますから、お嗜好に合ふものをお召しになる便利があります。

◎普通香水は容器の體裁を飾る爲に餘計に高價なものになる弊がありますが、三百番香水は正味のみを目的として居りますから、自然價格も無類の低廉なものになつて居ります。

賣捌――全國到る處のミツワ石鹸販賣店、若し萬一お近處に取次店がなければ本舖へ直接注文あれ郵便小爲替か振替口座にて送金あれば（內地は送料不要）郵送す、代金引換小包郵便にても宜し東京市內は個一壜一個にても配達す（市內樣專用電話浪花四五〇番）

○丸見屋商店
東京市日本橋區橘町四丁目
藥品、化粧品、石鹸、香粧品、小間物問屋
電話浪花四四八・四四九・四五〇番 電信略號〇ミヤ 振替東京七一〇〇番

大阪株式特電

前場 合同紡績 鐘淵紡績 上新株

後場 一七日後場

九月限 一二七、九〇 一〇八、一〇 一〇八、一〇

十月限 九三、一〇 一〇九、三〇 一〇九、三〇

十一月限 七一、〇〇 一一〇、〇〇 一一〇、二〇

十二月限 七二、二〇

一月限

大阪期米特電（七日）

一二三、〇〇 一二三、四〇 高値

一二四、〇〇 一二四、五〇 安値

止め 一二二、二〇

▲後場保合ふ

▲後場の商戰

七日の十一月限 後場寄附 九圓十錢

賣買取組高 九月限 六千八百石 十月限 一萬千五十七石

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行 小倉丸 九月十四日後五時出帆
○元山城津浦鹽行 小倉丸 九月 日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行 立神丸 九月 七日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 九月十六日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 九月十二日後九時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 九月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天具丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
本船取扱店 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶大阪行
秀吉丸 九月 日後四時出帆
君が代丸 九月九日後四時出帆
神代丸 九月十日後四時出帆
大有丸 九月 日後四時出帆
○群山、大阪行 士海丸
仁川港町一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候
○外航所屬航路（沿岸航路を除く）兩連絡御乘船の時は九分引を以て連絡切符發賣仕候
×○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行 漳州丸 九月十一日／宮島丸 九月十六日／須磨丸 九月十九日／城丸 九月 九日 午後五時出帆
×木浦、釜山、長崎行▲は鎭南浦に寄港 安東丸 九月 九日／▲天智丸 九月十八日 午後二時出帆
××○鎭南浦、大連行 安東丸 九月二十日／天智丸 九月十三日 午後二時出帆
×○鎭南浦、關門、神戶、大阪行 漢城丸 九月 九日 正午五時出帆
△△○群山、釜山、横濱行 千珠丸 九月十六日／チヨイサン丸 九月廿六日 午後四時出帆
△△○大連直行 千珠丸 九月二十日／チヨイサン丸 九月十二日 正午出帆
○元山、清津、浦潮行（釜山出帆）▲は城津西湖津に寄港 神宮丸 九月十七日／宮島丸 九月廿七日／▲城津丸 九月廿二日 午後九時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 東丸 九月十三日／基隆丸 九月廿七日 午前十時出帆
御注意 ○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯帶運輸切符發賣仕候 ○御乘船客は本船出帆前一時間前御乘船を乞ふ ○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番 二三〇番 五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番

阿波共同汽船仁川出帆

芝罘、大連行 共同丸 九月 八日後七時入港 九月 十日前九時出港
朝鮮西海岸各港定期船に接續荷客共取扱仕候 大連にて南島行定期船に接續荷客共通し御取扱可仕候
第二阪鶴丸 城津、清津、浦鹽行（元山出帆） 九月 日後九時 九月 十日 出港
第三共同丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行（元山出帆） 九月十一日 九月十二日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目（電話一〇八番） 仁川代理店 山下回漕部
（電話二四四七番） 元山代理店 田口回漕部
（大門電話二一六八、二〇一七） 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆

京城南大門通 京城荷客取次店 松原運送店
本社 支店、出張所、代理店、商客取扱店に御照會の程願上候

船名	日	發
全羅丸 京畿丸 黃海丸 咸鏡丸（門司より釜山各港經由）	△九月廿五日 △九月十五日 九月十九日 九月 九日	釜山發
昌平丸 慶城丸（元山より各港經由）	九月 十日 九月十六日	元山發
竹忠丸 清丸（城津、清津、浦鹽行）	九月二十日 九月十一日	元山發
永興丸（北久味、五里浦行 又は長崎延長）	毎月廿八回	元山發
嘉島丸（甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行）	九月十一日	釜山發
江陵丸 襄陽丸（長生浦、方魚津寄港）	毎日	（釜山浦項）發
三浦丸（長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港行）	九月十一日	釜山發
海州丸 統營丸 巨濟丸 慶實丸（各港經由麗水行（三日目一回木浦行））	毎日	釜山發
順天丸（各港經由麗水行麗水より釜山行に接續）	三日目毎	木浦發
慶興丸（各港經由濟州島）	九月十日	木浦發
公州丸（南多島海列島行（月三回））	九月十二日	木浦發
宗信丸（海州他各港經由、鎭南浦行）	九月十五日	仁川發
江原丸（青島直行、大連、芝罘行）	九月十一日	仁川發
麗水丸 初鷹丸（各港經由木浦行）	九月十日 九月十四日	仁川發
全州丸 南陽丸（江華島、喬桐島、海州行）	毎日午前	仁川發
平安丸（出航 大黑山、木浦、門司 復航 門司、木浦、群山行）	九月十四日 九月十日	群山發 雄基發

日本郵船仁川出帆

○大連太沽牛莊行
高砂丸 九月 十九日 正午出帆
三河丸 九月 十八日 正午出帆
相模丸 九月廿八日 正午出帆
仁川港町一丁目 電話十一番 堀回漕部

漢江沿岸 春川行出帆廣告

日本形帆船に日入船夫二名を乘せ荷物の運送を致し春川迄四日五日貸切は三日に著き（御家紐には御便利）ますから御引立を偏に願上ます
龍山元町河岸 元扱店 副島運送店 電話一四四番
京城取次店 牛馬車扱 酒井運送店 電話二二九一番
春川支店 いろは旅館 電話三七番

村上浪六著（其の傑作小說）

八軒長屋

前編 十四版 定價金七十錢
後編 九版 定價金七十錢
續編 七版 定價金六十五錢
郵便稅本社持

八軒長屋は文章の外に、意匠の外に、議論の外に、著者その人を得ざれば能はざるものなり。戀愛小說にあらず。自然主義にあらず。煩悶小說にあらず。實際上の理窟主義にあらず。机上に於ける一種の人間學を洒落と滑稽の兩面より眞寫せるもの。

京城日報社代理部 振替貯金口座京城三〇〇番